

年 報

—平成 27 年度—

2016
大磯町郷土資料館
OISO MUNICIPAL MUSEUM

はじめに

平成 27 年度大磯町郷土資料館年報を刊行いたします。

平成 27 年度は、前年度に実施設計を完了した常設展示リニューアルの工事に着手しました。展示リニューアル工事に伴い、新しい常設展示に必要となる資料の修復や模型の製作を進め、平成 28 年 3 月 22 日からは臨時休館するなど、通常業務と平行するかたちで関連の業務を行いました。そのため、例年行っていた博物館実習を行わず、企画展示室を使用する企画展の実施を 3 本に減らすなど、一部の活動を縮小しました。

また、旧吉田茂邸再建事業についても前年度に引き続き再建工事を実施し、大磯町旧吉田茂邸再建検討会議においては、再建後の利活用について協議を続けました。

次年度の 11 月には展示リニューアルオープンを予定し、旧吉田茂邸公開に向けた準備作業を進めて行くこととなります。当館の新たな活動にご期待いただきたく、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大磯町郷土資料館

目 次

[事業報告]

庶務	2
・組織および職員	2
・運営委員会	2
・予算	2
・維持管理	3
・入館者	3
学芸	4
・企画展	4
・学級・講座	6
・リニューアル推進事業	8
・博物館資料の整備	9
・施設整備事業	9
・ホームページを活用した情報発信	9
・学校教育との連携	10
・刊行物	10
・調査・研究・普及	11
・博物館資料の収集、整備、利用	13
旧吉田茂邸再建事業	28
・大磯町旧吉田茂邸再建検討会議	28

[研究報告]

博物館資料としての古文書の活用 —「用田村伊東宗兵衛家文書の世界」展を開催して— 富田 三紗子	30
---	----

事業報告

庶務

■ 組織および職員

教育長 藤家 崇	教育部長 岩本 清嗣	生涯学習課長 佐川 和裕	郷土資料館 館長 國見 徹	副主幹／学芸員 主事／学芸員 主事／学芸員 主事補 臨時職員／司書 臨時職員／自然観察指導員 臨時職員／学芸員 臨時職員／学芸員 臨時職員／学芸員 臨時職員	北水 慶一 富田三紗子 鈴木 一男 山口 佳織 諏訪部房代 高山 優美 菊地 悠介 星川 嘉代 肥沼 恵一 名取 淳子
-------------	---------------	-----------------	------------------	---	--

■ 運営委員会

<委員の構成>

- ・委員長／近藤 英夫（学識経験者）
- ・副委員長／稲葉 和也（家庭教育の向上に資する活動を行う者）
- ・委員／広谷 浩子（学識経験者）
新見由美子（社会教育関係者）
池田伊三郎（学校教育関係者）

<委員会の開催>

- ・第1回／平成27年7月15日
 - 議題1 平成26年度事業報告について
 - 議題2 平成27年度事業について
 - 議題3 旧吉田茂邸再建について
 - 議題4 展示リニューアルについて
- ・第2回／平成27年11月25日
 - 議題1 平成27年度事業進捗状況について
 - 議題2 旧吉田茂邸再建について
 - 議題3 展示リニューアルについて
 - 議題4 企画展「用田村伊東宗兵衛家文書の世界」について
- ・第3回／平成28年2月9日
 - 議題1 平成27年度事業進捗状況報告について
 - 議題2 平成28年度事業計画について
 - 議題3 展示リニューアルについて
 - 議題4 施設整備について
 - 議題5 旧吉田茂邸再建について

■ 予算

<当初予算の推移>

事業	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
金額	46,633,000	40,956,000	43,650,000	46,587,000	200,095,000	512,125,000

<平成27年度決算>

事業	運営事務	維持管理	学芸活動	教育普及・企画展
金額	2,966,980	11,279,743	2,826,918	1,229,880
事業	リニューアル	旧吉田茂邸再建	施設整備	計
金額	26,543,286	196,943,473	9,288,000	251,078,280

□職員給与（5人分） 29,574,086円 ■歳出合計 280,652,366円

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／(株)湘南県央サービス
- ・警備委託／(株)全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／ダイコー(株) 横浜営業所
- ・敷地管理委託／(財)神奈川県公園協会
- ・空調機器給水設備保守委託／扶桑工業(株)
- ・浄化槽維持管理委託／湘南興業(有)
- ・自家用電気工作物保守委託／吉川電気管理事務所
- ・消防用設備保守委託／(有)湘南消防器具商会
- ・自動ドア保守委託／(株)神奈川ナブコ 厚木支店
- ・燻蒸委託／関東港業(株) 横浜営業所

<修繕>

- ・トイレ洗面器水栓修繕／扶桑工業(株)
- ・浄化槽漏電修繕／(株)望月電気工事
- ・キャンチラック設置工事／神奈川ファイリング(株)

■ 入館者

<入館者数の推移>

単位：人、日

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	累計（昭和 63 年～）
入館者数	27,049	25,349	29,179	30,335	25,673	877,380
1日平均／開館日数	93／291	86／295	101／290	102／296	91／283	111／7,888

<月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	2,321	3,173	1,665	1,517	2,434	2,240	2,734	2,540	1,834	1,578	2,059	1,578	25,673
1日平均	93	122	72	69	97	90	105	106	80	69	90	88	91

<見学・視察>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	3	2	1	1	3	4	11	4	0	3	3	37

<研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	10	10	9	6	12	9	10	10	12	8	9	8	113

■ 企画展

〔平成 26 年度から継続〕

企画展「昭和の子供たちー子供の遊びとくらしー」

期 間／平成 27 年 3 月 21 日（土）～5 月 10 日（日）

開場日数／42 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 500 点

料 金／無料

入館者数／4,740 人

（趣旨・内容）日本では第 2 次世界大戦や戦後の経済成長により生活形態が急激に変化してきた。人々の生活や子供の遊びも時代とともに変わり、殊にコンピューターゲームの普及により劇的に変化した。本展では館所蔵のオモチャやワークショップ「昔の遊び調査隊」の活動成果をもとに昭和期における子供の遊びとくらしについて紹介した。詳細については前年度（平成 26 年度）の年報を参照願いたい。

（担 当）保坂・富田



「大磯の災害」パネル展

期 間／平成 27 年 5 月 23 日（土）～6 月 21 日（日）

開場日数／25 日間

会 場／郷土資料館 廻廊

出品点数／12 点

料 金／無料

入館者数／2,085 人

（趣 旨）大磯の災害史をわかりやすく伝え続けるために、平成 24 年度春季企画展として開催した「大磯の災害」展の内容をパネルにまとめた。パネルの最初の展示機会として、本企画展を開催する。

（内 容）大磯の災害を「地震」、「風水害」、「噴火」の 3 つのテーマに分け、大磯町のマスコットキャラクター「いそべえ」と「あおみ」の会話形式による解説によってまとめたパネルを展示した。また、危機管理課による津波浸水想定図の修正に関する展示も行った。

（担 当）富田



企画展「海の中の植物・海藻

～いろいろな色 いろいろな形～

期 間／平成 27 年 7 月 18 日（土）～9 月 23 日（日）

開場日数／57 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 200 点

料 金／無料

入館者数／5,108 人

（趣 旨）海藻は、万葉集に詠み込まれるなど古来より親しまれてきた植物である。ノリ、ワカメ、コンブなどは食材として利用され、食物繊維が豊富で、低カロリーな自然食品としてよく知られている。食材以外にも衣料品・医療品・肥料など様々な分野でも利用されている。また、環境面では海中に森を作り、他の生き物に生活の場を提供するとともに、海水の浄化や地球温暖化を防止する働きをしている。

このたびの企画展では、海藻の多彩な色彩、形に触れ、興味を持っていただくとともに、海藻が自然環境において重要な役割を担っていることを学ぶ機会とする。



(内 容) 平成 22 年度に開始した郷土資料館主催のワークショップ「海の森クラブ」は、大磯町の海藻の目録化を目指し活動を進めている。開始から 5 年が経ち、本町における海藻の種類や分布の状況等の情報が得られたため、活動の成果を中心に紹介した。企画展では海藻おしば標本の他、海藻や他の生物を撮影した海中写真を展示した。

(担 当) 高山・北水

企画展「用田村伊東宗兵衛家文書の世界

—古文書が結ぶ二つの地域—

期 間／平成 27 年 10 月 24 日 (土)～12 月 13 日 (日)

開場日数／42 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

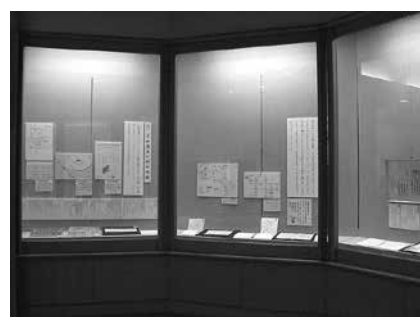
出品点数／約 70 点

料 金／無料

入館者数／4,594 人

(趣 旨) 郷土資料館が所蔵する用田村伊東宗兵衛家文書は、平成 11 年度に国府本郷にお住まいの方からご寄贈いただいた古文書であり、郷土資料館が主催する古文書裏打ちクラブや古文書解読クラブの活動を通して、修復や解読調査を進めてきた。近年、解読が進むにつれ、この古文書群が用田村(現藤沢市用田)の有力者であった伊東宗兵衛家のものであることがわかり、用田にとって貴重な資料であることや、用田と国府のつながりなどが見えてきた。古文書解読クラブの成果を発表する意図も含め、貴重な地域資料を紹介する。

(内 容) 用田村伊東宗兵衛家文書の全体像を紹介し、用田村の概要や、伊東宗兵衛家、伊東宗兵衛家を介した用田と国府のつながりを解説した。また、古文書の修復や解読を進めてきた古文書裏打ちクラブおよび古文書解読クラブの活動を、展示によって紹介した。



〔関連行事〕

展示解説

日 時／平成 27 年 11 月 8 日 (日)、29 日 (日) いずれも 14 時～14 時 30 分頃

会 場／大磯町郷土資料館 企画展示室

(内 容) 担当学芸員が企画展示の内容を 30 分程度で解説した。

(担 当) 富田

「大磯の災害」パネル展

期 間／平成 28 年 3 月 2 日 (水)～3 月 21 日 (月)

開場日数／18 日間

会 場／郷土資料館 廻廊

出品点数／12 点

料 金／無料

入館者数／1,578 人

(趣 旨) 3 月 11 日で東日本大震災から 5 年が経つ。震災直後は、地域で過去に起きた災害を振り返り、防災に役立てる動きが活発になったが、時間が経った今、災害に対する関心が薄れてきていることは否めない。改めて、大磯の過去の災害を振り返る機会として、「大磯の災害」パネル展を開催する。

(内 容) 大磯の災害を「地震」、「風水害」、「噴火」の 3 つのテーマに分け、大磯町のマスコットキャラクター「いそべえ」と「あおみ」の会話形式による解説によってまとめたパネルを展示した。また、危機管理課による津波浸水想定図の修正に関する展示も行った。

(担 当) 富田



■ 学級・講座

<古文書裏打ちクラブ>

期 日／平成 27 年 4 月 18 日(土)、5 月 16 日(土)、6 月 20 日(土)、7 月 18 日(土)、8 月 15 日(土)、9 月 19 日(土)、10 月 17 日(土)、11 月 21 日(土)、12 月 19 日(土)、平成 28 年 1 月 16 日(土)、2 月 20 日(土)、3 月 19 日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／鶴飼レイ子氏、中村ふぢ氏、吉原悦子氏

参加人数／延 142 人

(内 容) 裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行うワークショップ。博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置づけ、平成 16 年度から継続している。活動内容は、昨年度に引き続き、襖に下張りされていた古文書の資料化を進めた。会員を随時募集し、今年度は 4 名の新規入会があった。

(担 当) 富田



<古文書解読クラブ>

期 日／平成 27 年 4 月 4 日(土)、5 月 2 日(土)、6 月 6 日(土)、7 月 11 日(土)、8 月 8 日(土)、9 月 5 日(土)、10 月 3 日(土)、11 月 7 日(土)、12 月 5 日(土)、平成 28 年 1 月 9 日(土)、2 月 6 日(土)、3 月 5 日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／延 130 人

(内 容) 郷土資料館が所蔵する古文書を会員と共に解読することにより、大磯の歴史を学び、古文書資料の活用を図ることを目的として、平成 24 年度から毎月第一土曜日を原則として活動を始めた。解読の対象資料は、かつて古文書裏打ちクラブで修復した用田村伊東宗兵衛家文書であり、今年度も引き続きこの資料群の解読を行った。また、今年度は 3 年間の解読の成果として、企画展「用田村伊東宗兵衛家文書の世界」を開催した。昨年度に引き続き、会員有志で毎週金曜日の活動を行い、その活動で企画展の準備を進めた。なお、今年度は新規会員を募集し、新たに 5 名が入会した。

(担 当) 富田



<大磯自然観察会>

期 日／平成 27 年 4 月 25 日(土)、5 月 9 日(土)、5 月 23 日(土)、6 月 13 日(土)、6 月 27 日(土)、7 月 25 日(土)、8 月 22 日(土)、9 月 26 日(土)、10 月 24 日(土)、11 月 28 日(土)、12 月 12 日(土)、平成 28 年 1 月 23 日(土)、2 月 13 日(土)、3 月 12 日(土)

場 所／大磯運動公園、大磯町西小磯、国府本郷地区北浜海岸、小磯の海岸、郷土資料館 研修室

参加人数／延 147 人

(内 容) 本ワークショップは、植物の調査を通して植物に関する知識を深めるとともに身近な自然に親しむことを目的に平成 11 年度に活動を開始した。これまでに第 1 次調査 秋の植物分布調査〔平成 11 年度・12 年度〕、第 2 次調査 県立大磯城山公園の植物調査〔平成 13～17 年度〕、第 3 次調査 星槎湘南大磯キャンパス(万台こゆるぎの森)の植物調査〔平成 18～20 年度〕を実施してきた。現在は第 4 次調査として、大磯運動公園及びその周辺地域の植物調査を行っている。

本年度は、主調査の大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査を 12 回と平成 20 年度から継続して実施している海岸の植物調査を 2 回の計 14 回の活動を行った。



(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容	月 日	内 容
4月25日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	7月25日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	12月12日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査
5月9日	小磯の海岸の植物調査	8月22日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	1月23日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査
5月23日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	9月26日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	2月13日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査
6月13日	北浜海岸の植物調査	10月24日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	3月12日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査
6月27日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	11月28日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査		

(担 当) 北水

<海の森クラブ>

期 日／平成27年4月21日(木)、5月17日(日)、6月18日(火)、7月23日(木)・24日(金)、8月2日(日)、12月16日(水)、平成28年1月15日(金)、2月25日(木)、3月10日(木)

※11月26日(木)は雨天のため中止とした。

場 所／町内海岸、郷土資料館 研修室

参加人数／延22人

(内 容) 本年度6年目となるワークショップ。大磯町の海藻の目録化を目的として活動を進めている。本年度は季節ごとの海藻の生育状況を確認するため、北浜海岸、照ヶ崎海岸と大磯港の定点観察を実施した。また、5月には、海の教室『磯の生き物観察会』で海藻についての講話を行い、7月の海の教室『楽しい海藻おしばづくり』、8月の国府小学校『あそび塾』では、海藻おしばづくりの指導にあたった。



(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容	月 日	内 容
4月21日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察	7月24日	海の教室『楽しい海藻おしばづくり』おしばづくり指導	1月15日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
5月17日	海の教室『磯の生き物観察会』海藻についての講話	8月2日	国府小学校『あそび塾』おしばづくり指導	2月25日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
6月18日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察	11月26日	－雨天のため中止－	3月10日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
7月23日	海の教室『楽しい海藻おしばづくり』おしばづくり指導	12月16日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察		

(担 当) 高山

<海の教室>

① 磯の生き物観察会

期 日／平成27年5月17日(日)

場 所／照ヶ崎海岸

講 師／福田良昭氏 (相模貝類研究談話会会長)

参加人数／45人

② アオバト観察会

期 日／平成27年6月28日(日)

場 所／照ヶ崎海岸

講 師／斎藤常實氏 (こまたん)・金子典芳氏 (こまたん)

※こまたん/湘南地域を基点に野鳥観察を中心とした自然観察会を実施している団体

参加人数／25人

③ 楽しい海藻おしばづくり

期 日／平成27年7月23日(木)、24日(金)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／高山優美 (当館臨時職員)

三橋絹代氏、永島美保氏 (海の森クラブ会員)

参加人数／83人



(内 容) 特定の学問分野に拘らず「海」をテーマに様々なことを体験し、楽しみながら海岸環境や海産生物についての知識を深めることを目的に平成12年度から実施している。平成27年度は生き物観察を中心に3種類の講座を実施した。楽しい海藻おしばづくりについては7月23日、24日の午前、午後1回ずつの計4回実施し、夏休みの自由研究に活用できる内容と好評を博した。

(担 当) 北水・高山



<歴史講座>

大磯と空襲

期 日/平成27年8月2日(日)

場 所/郷土資料館 研修室

参加人数/67人

(内 容) 昭和20年7月16日の平塚空襲では、隣接する大磯町でも山王町、茶屋町、寺坂において空襲の被害があった。しかし、戦後70年を迎えた今、このことを知る人は、町内でも少なくなった。身近な地域で起こった空襲被害を改めて考えるために、空襲を体験された方や、関係の調査を行っている方から、大磯の空襲に関してお話しいただいた。

1. 平塚空襲について(平塚の空襲と戦災を記録する会 渡邊良子氏)

ご体験に基づいて、昭和20年7月16日の平塚空襲の様子をお話しいただいた。

2. 遺跡から出土する焼夷弾(当館学芸員 鈴木一男)

大磯町内及び周辺地域からどのように焼夷弾が発見されるのか、具体例を示しながら解説した。

3. 大磯で空襲を体験して(矢橋貞子氏、渡邊栄一郎氏)

空襲のご体験を感じたままにお話しいただいた。矢橋貞子氏からは、西小磯でのご体験、渡邊栄一郎氏からは、山王町のご体験を中心にお話しいただいた。

4. 空襲に関する証言の朗読(平塚の空襲と戦災を記録する会 室紘子氏)

平塚の空襲と戦災を記録する会がまとめられた『市民が探る平塚空襲証言編』に掲載されている寺坂の証言を、朗読によって紹介した。

(担当) 富田



■ リニューアル推進事業

(株)丹青社に展示リニューアル工事を発注し、(株)坂倉建築研究所に展示リニューアル工事監理委託業務を発注した。あわせて、リニューアル展示に活用する資料の整備を進めた。

<資料整備>

須恵器大甕修復委託

業 務 内 容	完成年月日	委 託 先
リニューアル後の展示を予定している須恵器大甕を、解体・再接合し樹脂等を用いて修復する。	H28.3.9	(株)スタジオ三十三

鉄製品(クワスキ先)修復委託

業 務 内 容	完成年月日	委 託 先
鉄製品(クワスキ先)の錆等の除去・脱塩・樹脂含浸等の保存処理を行う。	H28.3.15	(株)東都文化財保存研究所

動物剥製作製委託

業 務 内 容	完成年月日	委 託 先
リニューアル後の展示を予定しているアオバトの剥製を3体作製する。	H28.3.3	(有)尼ヶ崎科学標本社

<模型製作委託>

別荘建築模型製作委託

業 務 内 容	完成年月日	発 注 先
赤星弥之助別邸、三井守之助別邸の40分の1の縮尺模型を製作する。	H28. 3. 25	十川造形工房

<資料解体作業>

祭り船解体作業

業 務 内 容	完成年月日	発 注 先
常設展示の資料を更新するため、既設の御船祭の祭り船を解体した。	H28. 3. 27	北下町御船保存会

■ 博物館資料の整備

<資料整備委託>

絵図（伊東祐正殿居地家作百分壱縮図紙本）修理委託

業務内容／糊のはがれなどによって破損している資料を、繕い、継ぎ直し、裏打ちによって修理する。

履行期間／平成27年5月8日～9月30日

業 者／宮田文申堂

■ 施設整備事業

<委託業務>

中庭整備実施設計委託

業務内容／大磯町郷土資料館が、将来にわたって安全に維持管理を行い、博物館活動を有効に機能させるとともに、来場者の休息場所としても活用されるよう中庭整備の実施設計を作成する。

委託期間／平成27年11月12日～平成28年3月25日

業 者／(株)ランズ計画研究所

<工事>

公共下水道接続工事

業務内容／公共下水道と接続する排水管の敷設工事を行う。

履行期間／平成28年1月28日～3月18日

業 者／(有)岩田土木管工

郷土資料館空調整備改修工事

業務内容／郷土資料館の事務室、学芸員室の空調設備を改修する。

履行期間／平成28年2月18日～3月18日

業 者／(有)岩田土木管工

■ ホームページを活用した情報発信

<ホームページの充実>

郷土資料館のWebサイト内[大磯町郷土資料館ノート]に館活動情報等を掲載し、発信した。

(月別アクセス数)

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	2,220	3,220	2,672	3,356	3,809	3,462	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3,893	3,783	3,138	3,626	2,397	2,490	37,066

(担 当) 山口・富田・高山

■ 学校教育との連携

<児童・生徒を対象とした学習指導>

	学校から郷土資料館へ (郷土資料館の見学、学習指導)		郷土資料館から学校、町内各所へ (郷土資料館外への講師派遣)	
幼稚園 保育園	5月15日	国府幼稚園遠足		
	10月6日	めぐみ幼稚園(二宮町)遠足		
	10月15日	めぐみ幼稚園(二宮町)遠足		
	12月1日	れんげ幼稚園(小田原市)遠足		
	2月26日	国府幼稚園遠足		
小学校	5月27日	国府小学校1年生遠足	4月30日	国府小学校4年生自然科学学習 「春の自然」
	10月30日	国府小学校4年生社会科学習 「昔から今へと続くまちづくり」	5月29日	国府小学校生沢分校総合学習 「漂着物を使った美術品製作」
	2月18日	聖ステパノ学園小学校3年生 課外活動	7月7日	国府小学校4年生自然科学学習 「夏の自然」
	3月10日	国府小学校3年生社会科学習 「変わるわたしたちの暮らし」	9月28日	国府小学校3年生自然科学学習 「こん虫のかんさつ」
			10月28日	国府小学校4年生自然科学学習 「秋の自然」
			2月4日	国府小学校4年生自然科学学習 「冬の自然」
			2月29日	南原小学校(平塚市)6年生 総合学習「校庭樹木の調査」
			3月9日	南原小学校(平塚市)6年生 総合学習「校庭樹木の調査」
中学校	8月2日	二宮中学校2年生職場体験	5月29日	国府中学校生沢分校総合学習 「漂着物を使った美術品製作」
	1月29日	国府中学校1年生職場体験	12月4日	大磯中学校1年生総合学習 「左義長」

<教員を対象とした講義>

- ・大磯町立学校新採用職員研修(5月)
- ・総合学習に生かせる大磯の自然散策(8月)

<その他の活動>

- ・理科副読本「大磯の自然－植物編－」の作成(年間)
(担当)北水・富田・星川

■ 刊行物

<図録・冊子>

- ・伊藤博文没後100年記念展『滄浪閣の時代(第2刷)』 A4判40頁 500部(平成27年6月刊)
- ・企画展『用田村伊東宗兵衛家文書の世界－古文書が結ぶ二つの地域－』図録
A4判20頁 500部(平成27年10月刊)
- ・資料館資料16『用田村伊東宗兵衛家文書目録』 A4判26頁 500部(平成27年10月刊)
- ・『Report－大磯町郷土資料館だより』36 A4判8頁 800部(平成28年2月刊)
- ・『年報－平成26年度－』 A4判42頁 500部(平成28年3月刊)

<チラシ・パンフレット>

- ・企画展『海の中の植物・海藻－いろいろな色 いろいろな形』チラシ
A4判両面 3,000部 (平成27年7月刊)
- ・企画展『用田村伊東宗兵衛家文書の世界－古文書が結ぶ二つの地域－』チラシ
A4判両面 3,000部 (平成27年9月刊)

<その他>

- ・講座通信『木荔枝－大磯自然観察会通信－』 A4判2頁 北°-対応 (平成27年4,7,10月、平成28年1月刊)
- ・講座通信『海の森通信』 A4判2頁 北°-対応 (平成27年4,5,6,7,12月刊)

■ 調査・研究・普及

<館内外の活動>

- ・博物館資料調査／年間／大磯町内外 (國見・北水・富田・鈴木・山口・諏訪部・高山・星川・肥沼・菊地)
- ・神奈川県博物館協会役員会出席／年間／神奈川県立歴史博物館 (國見)
- ・駒澤大学博物館学講座講義／年間／駒澤大学 (國見)
- ・新採用職員研修会講義／4月15日／大磯町保健センター (國見)
- ・大磯町立国府小学校4年生理科学習「春の自然」指導／4月30日／大磯町立国府小学校 (北水)
- ・大磯町ナショナルトラスト総会「大磯町の海岸植生」講演／5月9日／郷土資料館 (北水)
- ・大磯町教育研究所「大磯の自然に関する調査・研究部会」野外観察会指導／5月10日／大磯町内 (北水)
- ・平成26年度相模民俗学会公開講演会・総会出席／5月17日／横浜市歴史博物館 (星川)
- ・大磯町立学校新採用教職員研修会講義／5月19日／郷土資料館 (北水)
- ・大磯町教育研究所特別研究部会「大磯の自然に関する調査・研究部会」出席／5月27日、6月23日、7月22日、9月29日、10月21日、11月18日、1月5日、1月21日、2月23日、3月9日／大磯町役場本庁舎、大磯町保健センター (北水)
- ・神奈川県退職公務員連盟中郡支部大磯分会主催「第16回 さつき会」講話／5月28日／郷土資料館 (國見)
- ・大磯町立国府小・中学校生沢分校総合学習「漂着物を使った美術品製作」指導／5月29日／神奈川県立おおいそ学園 (北水)
- ・文明開化期の相武地域史研究会定例研究会出席／6月4日、1月14日／東海大学湘南校舎、横浜開港資料館 (富田)
- ・講演会「川勾神社所蔵「国府祭古図」を読み解く」出席／6月13日／二宮町生涯学習センター・ラディアン (富田)
- ・大磯町立国府小学校4年生理科学習「夏の自然」指導／7月7日／大磯町立国府小学校 (北水)
- ・いそっこ海の教室実行委員会主催「いそっこ海の教室2015」事前説明会「大磯町・大磯港その他歴史文化の成り立ち」講話／7月26日／郷土資料館 (富田)
- ・大磯町立国府小学校PTA主催あそび塾「ビーチコーミング・クラフト」指導／8月2日／大磯町立国府小学校 (北水・高山)
- ・二宮町立二宮中学校職場体験学習指導／8月4日／郷土資料館 (北水)
- ・平塚市環境政策課主催夏休み子ども環境教室〔海編〕指導／8月6日／平塚新港周辺 (北水)
- ・大磯町生涯学習課主催ナイトミュージアム&ハイク指導／8月9日／郷土資料館 (北水)
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然散策」指導／8月26日／大磯運動公園他 (北水)
- ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会運営委員会出席／9月18日、2月5日／戸田市立図書館・郷土博物館、板橋区公文書館 (富田)
- ・大磯町立国府小学校3年生理科学習「こん虫のかんさつ」指導／9月28日／大磯町立国府小学校 (北水)
- ・神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会研修会講義／10月6日／神奈川県立公文書館 (富田)
- ・大磯町立国府小学校4年生理科学習「秋の自然」指導／10月28日／大磯町立国府小学校 (北水)
- ・大磯町立国府小学校4年生社会科学習「昔から今へと続くまちづくり」指導／10月30日／郷土資料館 (富田・星川)

- ・大磯ガイドボランティア協会「県立大磯城山公園 旧吉田茂邸地区の植物」講話／11月7日／郷土資料館及び神奈川県立大磯城山公園 旧吉田茂邸地区（北水）
- ・平成27年度歴史民俗資料館等専門職員研修会受講／11月16日～20日／国立歴史民俗博物館（富田）
- ・平成27年度自然史標本データベース神奈川県委員会会議出席／11月17日／神奈川県立生命の星・地球博物館（國見・北水）
- ・大磯町生涯学習課主催「OISO 学び塾Ⅲ～江戸時代の大磯」講話／12月2日・3日／郷土資料館（富田）
- ・神奈川県中教育事務所主催四教育事務所社会教育主事研究協議会視察講話／12月4日／郷土資料館及び旧吉田茂邸（北水）
- ・大磯町立大磯中学校1年生総合学習「左義長」指導／12月4日／大磯町立大磯中学校（星川）
- ・全史料協関東部会定例研究会／12月11日／相模原市立公文書館（富田）
- ・大磯町立国府中学校1年生職場体験学習指導／1月29日／郷土資料館（北水）
- ・大磯町立国府小学校4年生自然科学学習「冬の自然」指導／2月17日／大磯町立国府小学校（北水）
- ・平塚市立南原小学校6年生総合学習「校庭樹木の調査」指導／2月29日、3月9日、平塚市立南原小学校（北水）
- ・大磯町立国府小学校3年生社会科学学習「変わるわたしたちの暮らし」指導／3月10日／大磯町立国府小学校（北水・高山）

<施設・展示解説>

- ・湘南地区監査委員連合会／4月17日／16人（北水）
- ・厚木市まちづくり建築部・厚木市教育委員会社会教育部／5月14日／10人（國見）
- ・小林ゼミ／6月20日／5人（富田）
- ・海藻おしば協会事務局／9月11日／2人（北水・高山）
- ・相模原市立城山公民館／10月9日／31人（北水）
- ・関東学院大学大越ゼミナール／11月14日／16人（星川）
- ・ウェディングプランナー／11月15日／15人（富田）
- ・相模原あじさい大学OB会／11月26日／20人（富田）
- ・大井町郷土史研究会／12月4日／30人（富田）
- ・厚木市教育委員会／12月16日／6人（國見）
- ・日高市高麗郡建郡1300年記念事業 大磯ツアー／2月20日／49人（北水）
- ・茅ヶ崎市社会教育課、教育施設課／3月11日／7人（北水）

<執筆>

國見 徹

- 2015. 6. 「住宅地に於ける煉瓦転用の事例」『駒澤考古』第40号 駒澤大学考古学研究室
- 2015. 6. 「伝承歌の追憶」『駒澤考古』第40号 駒澤大学考古学研究室
- 2015. 6. 「『零からの出発』その後」『駒澤考古』第40号 駒澤大学考古学研究室

富田 三紗子

- 2015. 10. 企画展『用田村伊東宗兵衛家文書の世界—古文書が結ぶ二つの地域—』図録 大磯町郷土資料館
- 2015. 10. 資料館資料16『用田村伊東宗兵衛家文書目録』 大磯町郷土資料館
- 2016. 3. 「大磯町における関東大震災の地域的な被害と地盤の関係」『年報—平成26年度—』大磯町郷土資料館

高山 優美

- 2016. 3. 「郷土資料館講座『海の森クラブ』の活動について」『年報—平成26年度—』大磯町郷土資料館

■ 博物館資料の収集、整備、利用

< 寄贈資料 >

(敬称略)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2015-0401	H27. 4. 7	着物	1	山口修 大磯町国府本郷	0706	H27. 7. 14	須恵器甕 (肩部破片)	1	高田麦太 大磯町大磯
0401	H27. 4. 7	着物	1	山口修 大磯町国府本郷	0707	H27. 7. 17	写真	2	小林佳代子 大磯町大磯
0401	H27. 4. 7	長持	1	山口修 大磯町国府本郷	0707	H27. 7. 17	レコード	1	小林佳代子 大磯町大磯
0401	H27. 4. 7	火打石	1	山口修 大磯町国府本郷	0708	H27. 7. 22	写真集 『吉田茂』	1	亀井直 大磯町国府新宿
0401	H27. 4. 7	古文書	9	山口修 大磯町国府本郷	0709	H27. 7. 23	書籍『天下の名勝鎌倉見 物/江の島めぐり』	1	新見由美子 大磯町東小磯
0402	H27. 4. 9	着物類一式	12	板橋昭子 大磯町生沢	0804	H27. 8. 4	花瓶	1	匿名
0404	H27. 4. 18	写真集 『城山荘』	1	宮嶋昭雄 東京都新宿区	0805	H27. 8. 4	桶 他	5	中村悠治 大磯町高麗
0404	H27. 4. 18	写真集 『如庵』	1	宮嶋昭雄 東京都新宿区	0806	H27. 8. 5	書籍 『藤公逸話』	1	清水弘子 -
0404	H27. 4. 18	写真集 『層雲閣』	1	宮嶋昭雄 東京都新宿区	0808	H27. 8. 30	アオバト	1	金子典芳 平塚市長持
0404	H27. 4. 18	写真集 『紫筠堂』	1	宮嶋昭雄 東京都新宿区	0808	H27. 8. 30	アオバト卵	1	金子典芳 平塚市長持
0405	H27. 4. 28	映画『吉田学 校』ポスター	1	永岡孝一 大阪市旭区	0903	H27. 9. 15	写真データ H26.10.7・ 台風18号跡・花水	19	飯田福信 大磯町大磯
0406	H27. 4. 29	マクラ	1	新見由美子 大磯町東小磯	0904	H27. 9. 30	櫓	1	漁業関係者
0501	H27. 5. 3	刀架	1	柳田薫子 大磯町西小磯	1001	H27. 10. 8	羽織	2	浦田福代 大磯町国府本郷
0506	H27. 5. 23	写真(大磯海 岸の日の出)	1	宮代伊佐雄 大磯町西小磯	1002	H27. 10. 8	記念盃	17	波多野正之 大磯町西小磯
0512	H27. 5. 28	古文書	一括	中村悠治 大磯町高麗	1002	H27. 10. 8	箱	1	波多野正之 大磯町西小磯
0512	H27. 5. 28	掛軸	一括	中村悠治 大磯町高麗	1101	H27. 11. 5	御船祭の山車 模型	1	寺澤弘 大磯町東町
0513	H27. 5. 29	写真	3	金山美行 大磯町大磯	1103	H27. 11. 12	書幅	1	柴田紳一 横浜市緑区
0601	H27. 6. 8	袴	1	落合安子 東京都世田谷区	1201	H27. 12. 25	ししゅう糸	一括	木村純子 大磯町大磯
0601	H27. 6. 8	書 「関門隧道」	1	落合安子 東京都世田谷区	1201	H27. 12. 25	天秤ばかり	1	木村純子 大磯町大磯
0601	H27. 6. 8	写真	5	落合安子 東京都世田谷区	1201	H27. 12. 25	日章旗	2	木村純子 大磯町大磯
0602	H27. 6. 25	紹刺し用具	一括	木村純子 大磯町大磯	1201	H27. 12. 25	着物	一括	木村純子 大磯町大磯
0602	H27. 6. 25	レコード	12	木村純子 大磯町大磯	1202	H27. 12. 26	絵皿	1	高槻耕 山形市鳥居笠
0702	H27. 7. 7	書籍 『編物指南』	1	蒲田昌子 大磯町大磯	2016-0101	H28. 1. 16	映画「吉田学 校」チラシ	1	永岡孝一 大阪市旭区
0702	H27. 7. 7	編針	3	蒲田昌子 大磯町大磯	0102	H28. 1. 20	大磯カーニバル 写真	12	加藤哲史 茅ヶ崎市巾島
0703	H27. 7. 7	絵葉書 「如庵」	一式	鶴岡弘子 大磯町国府本郷	0104	H28. 1. 27	絵葉書	5	加藤哲史 茅ヶ崎市巾島
0704	H27. 7. 10	徽章 他	一括	小林佳代子 大磯町大磯	0104	H28. 1. 27	パンフレット 等	6	加藤哲史 茅ヶ崎市巾島
0705	H27. 7. 14	ショイバシゴ	3	西山敏夫 二宮町山西	0202	H28. 2. 10	絵葉書	一括	加藤哲史 茅ヶ崎市巾島

<移管資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2015-0310	H27. 3. 25	旧国府町行政資料 他	一括	大磯町国府支所	0807	H27. 8. 11	磁器鉢	1	大磯町町民課
0502	H27. 5. 21	土質標本、調査報告書	3	大磯町下水道課	0901	H27. 9. 1	『大磯町勢要覧』	1	大磯町総務課
0502	H27. 5. 21	土質標本、調査報告書	3	大磯町下水道課	2016-0103	H28. 1. 27	島崎藤村関係資料	一括	大磯町産業観光課
0502	H27. 5. 21	土質標本、調査報告書	1	大磯町下水道課	0203	H28. 2. 12	大磯写真コンクール関係資料	一括	大磯町産業観光課
0502	H27. 5. 21	土質標本、調査報告書	1	大磯町下水道課	0301	H28. 3. 23	嶋立庵関係資料	一括	大磯町産業観光課
0701	H27. 7. 7	錦絵「禱龍館繁栄之図」	1	大磯町産業観光課					

<採集資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2015-0801	H27. 8. 4	アオバト	1	大磯町産業観光課

<購入資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2015-0511	H27. 5. 27	鍋島家資料	一括	秦川堂書店	2015-1102	H27. 11. 13	絵はがき	2	鶴庵高橋正幸 藤沢市鶴沼海岸
0902	H27. 9. 2	絵葉書	7	鶴庵高橋正幸 藤沢市鶴沼海岸					

<寄託資料>

(敬称略、寄託期間：H26. 4. 1 ～ H28. 3. 31)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2014-0402	H26. 4. 1	菊池重三郎関連資料	一括	菊池なつみ 大磯町大磯	0416	H26. 4. 1	屏風 他	一括	南本町区長
0403	H26. 4. 1	書籍	2	山川正 大磯町国府新宿	0417	H26. 4. 1	雛人形	一括	菱沼薫 横浜市緑区
0404	H26. 4. 1	獅子頭	2	裡道区長	0418	H26. 4. 1	高札	3	坂井孝明 大磯町黒岩
0405	H26. 4. 1	子ども会旗・七夕資料 他	一括	西小磯西子ども会長	0421	H26. 4. 18	大久保家資料	一括	大久保忠旦 千葉県千葉市
0406	H26. 4. 1	木造仁王像	2	慶覚院	0502	H26. 5. 10	クロッカスカーテン看板	1	添田光雄 大磯町国府本郷
0407	H26. 4. 1	吉田茂杯 他	5	大磯中学校	0803	H26. 8. 12	脇差	1	岩田迪久 大磯町寺坂
0408	H26. 4. 1	稲荷講資料	一括	中村晴夫 大磯町西小磯	0309	H27. 3. 6	鈴木芳如関係資料	10	鈴木康正 東京都世田谷区
0409	H26. 4. 1	画幅	1	角田豪 茅ヶ崎市萩園	0403	H27. 4. 16	画幅「七福神」	1	新杵 大磯町大磯
0410	H26. 4. 1	四季耕作図 他	9	守屋町子 大磯町黒岩	0403	H27. 4. 16	島崎藤村書幅	1	新杵 大磯町大磯
0411	H26. 4. 1	木造神像 他	12	高来神社	0710	H27. 7. 29	わきざし 他	8	岩崎千枝子 秦野市栢窪
0412	H26. 4. 1	掛軸 他	一括	西小磯西区長 西小磯東区長	0802	H27. 8. 4	わきざし 他	7	中村悠治 大磯町高麗
0413	H26. 4. 1	山高帽 他	一括	西小磯東区長	0802	H27. 8. 4	御用札	1	中村悠治 大磯町高麗
0414	H26. 4. 1	伊藤博文書幅	1	大木伸男 秦野市堀山下	0803	H27. 8. 4	わきざし	1	大場博 大磯町高麗
0415	H26. 4. 1	扁額 他	2	国府中学校長					

<資料の特別利用 (No. 1) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
伊東宗兵衛家文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 4. 4	古文書解説 クラブ参加者	オシメ オシメカバー	17	撮影 ／調査	H27. 6. 19	横浜市 歴史博物館
伊東宗兵衛家文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 4. 4	古文書解説 クラブ参加者	写真 他	4	撮影 ／業務資料	H27. 6. 23	大磯町 建設課
伊東宗兵衛家文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 4. 4	古文書解説 クラブ参加者	アルミ箔テー プ 他	3	撮影 ／刊行物掲載	H27. 7. 1	平塚市 博物館
伊東宗兵衛家文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 4. 4	古文書解説 クラブ参加者	禰龍館繁栄之 図 他	30	撮影 ／調査研究	H27. 7. 7	横浜みなと 博物館
伊東宗兵衛家文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 4. 6	古文書解説 クラブ参加者	相模国老箇国 目録 他	5	撮影 ／研究発表	H27. 7. 8	個人
伊東宗兵衛家文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 4. 7	古文書解説 クラブ参加者	禰龍館繁栄之 図 他	4	撮影 ／テレビ放送	H27. 7. 9	讀賣テレビ
伊東宗兵衛家文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 4. 10	古文書解説 クラブ参加者	茅ヶ崎名所 絵葉書 他	100	熟覧 ／調査研究	H27. 7. 9	藤沢市郷土 歴史課
伊東宗兵衛家文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 4. 10	古文書解説 クラブ参加者	伊東宗兵衛家 文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 7. 11	古文書解説 クラブ参加者
伊東宗兵衛家文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 4. 12	古文書解説 クラブ参加者	松本順 生人形	1	撮影 ／参考資料	H27. 7. 12	国立民族学 博物館
常設展示風景	一	撮影 ／個人的趣味	H27. 4. 14	個人	昭和二十年戦災 記録簿大磯駅	1	調査 ／刊行物掲載	H27. 7. 14	平塚市 博物館
館内見学風景	一	撮影 ／学校紹介映像	H27. 4. 22	星槎国際 高等学校	横穴墓 他	13	撮影 ／個人的趣味	H27. 7. 24	個人
伊東宗兵衛家文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 5. 2	古文書解説 クラブ参加者	祭船 他	6	撮影 ／個人的趣味	H27. 7. 24	個人
伊東宗兵衛家文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 5. 2	古文書解説 クラブ参加者	常設展示風景	一	撮影 ／個人的趣味	H27. 7. 28	個人
常設展示風景	一	撮影 ／参考資料	H27. 5. 5	個人	滄浪閣 絵葉書	1	撮影 ／テレビ放送	H27. 7. 30	NHK
祭船 企画展風景	11	撮影 ／SNS掲載	H27. 5. 6	個人	禰龍館繁栄之 図 他	25	撮影 ／刊行物掲載	H27. 8. 1	横浜みなと 博物館
大磯町国府町合 併祝賀会写真 他	4	撮影 ／個人的趣味	H27. 5. 14	個人	祭船 他	6	撮影 ／個人的趣味	H27. 8. 6	個人
館内風景	一	撮影 ／参考資料	H27. 5. 14	厚木市教育委員会 社会教育部	伊東宗兵衛家 文書	一括	撮影 ／講座に利用	H27. 8. 8	古文書解説 クラブ参加者
明治の滄浪閣 写真 他	2	データ利用 ／テレビ放送	H27. 5. 15	TBS ビジョン	常設展示風景	一	撮影 ／個人的趣味	H27. 8. 12	個人
大磯町絵葉書 他	6	撮影 ／テレビ放送	H27. 5. 19	テレビ朝日	城山荘模型	一	撮影 ／個人的趣味	H27. 8. 21	個人
鳴立沢標石	1	撮影 ／テレビ放送	H27. 5. 19	ハウフルス	滄浪閣 絵葉書 他	2	撮影 ／個人的趣味	H27. 8. 21	個人
西園寺家別荘 写真	1	撮影 ／ホームページ掲載	H27. 5. 27	立命館史資料 センター	写真	1	撮影 ／個人的趣味	H27. 8. 23	個人
創作こけし 吉田茂 他	28	撮影 ／調査	H27. 5. 27	衆議院憲政 記念館	タケイカリ	1	撮影 ／研究発表	H27. 8. 30	個人
大磯町国府町合 併祝賀会写真 他	4	撮影 ／個人的趣味	H27. 5. 29	個人	オシメ・オシ メカバー	3	撮影 ／刊行物掲載	H27. 9. 1	横浜市 歴史博物館
相陽大磯駅全図 他	2	撮影 ／個人的趣味	H27. 5. 29	個人	創作こけし 吉田茂 他	2	撮影 ／広報活動	H27. 9. 3	衆議院憲政 記念館
神奈川大磯 明細全図	1	撮影 ／研究発表	H27. 6. 3	個人	高来神社蔵 木造神像群	一括	撮影 ／刊行物掲載	H27. 9. 4	奈良国立博 物館
企画展示風景	5	撮影 ／刊行物掲載	H27. 6. 6	ワウニュース社	海藻展示	40	撮影 ／SNS掲載	H27. 9. 5	マナティーズ
高麗寺村絵図 他	4	撮影 ／文化祭展示	H27. 6. 10	個人	海藻展示	10	撮影 ／個人的趣味	H27. 9. 5	個人
常設展示風景	一	撮影 ／SNS掲載	H27. 6. 11	湘南リビン グ新聞社	大磯海水浴 富 士遠景図 他	5	撮影 ／テレビ放送	H27. 9. 7	日本テレビ
東京オリンピック 聖火リレー写真	1	撮影 ／テレビ放送	H27. 6. 12	テレビ朝日	明治の滄浪閣 絵葉書	1	模写 ／刊行物掲載	H27. 9. 11	編集工房 ペンハウス

<資料の特別利用 (No. 2) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
鳴立澤と入口の景 他	3	データ利用 ／テレビ放送	H27. 9. 14	日本テレビ	袴龍館繁栄之図 他	18	データ利用 ／刊行物掲載	H27. 12. 11	徳富蘇峰記念塩崎財団
七夕飾り 他	5	撮影 ／個人的趣味	H27. 9. 16	個人	館内展示風景 機械設備	-	撮影 ／参考資料	H27. 12. 16	厚木市 教育委員会
相州平塚海岸旭館本店 写真他	2	模造 ／イベント展示	H27. 9. 17	浜岳郷土史会	馬場台遺跡出土 陶磁器・土器 他	13	撮影 ／研究発表	H27. 12. 21	伊豆の国市 文化財課
祭船 他	4	撮影 ／動画作成	H27. 9. 18	県政総合センター	切紙・中極位・目録 他	16	撮影 ／研究発表	H27. 12. 22	小島資料館
城山荘模型 他	20	撮影 ／個人的趣味	H27. 9. 22	個人	大磯町絵葉書 他	182	データ利用 ／アプリケーション製作	H28. 1. 6	大磯町 観光協会
企画展示資料 常設展示資料	24	撮影 ／研究発表	H27. 9. 23	個人	滄浪閣 絵葉書	1	撮影 ／刊行物掲載	H28. 1. 8	朝日新聞
下田横穴第5号 穴出土鏡	1	撮影 ／刊行物掲載	H27. 9. 27	川崎市市民ミュージアム	大磯町海水浴場 写真 他	4	撮影 ／個人的趣味	H28. 1. 9	個人
東京オリンピック 聖火リレー他	4	撮影 ／刊行物掲載	H27. 9. 29	湘南リビング新聞社	滄浪閣 写真	1	データ利用 ／刊行物掲載	H28. 1. 13	三栄書房
大磯町全景 絵葉書 他	8	撮影 ／テレビ放送	H27. 9. 30	BS 朝日	大磯町絵葉書	11	模写 ／複製	H28. 1. 14	つきやま Arts&Crafts
左義長の模型 他	一括	撮影 ／調査研究	H27. 10. 6	個人	エトワンス・展示 風景 他	25	撮影 ／個人的趣味	H28. 1. 19	個人
常設展示資料	-	撮影 ／調査研究	H27. 10. 10	個人	吉田茂胸像 他	8	撮影 ／調査研究	H28. 2. 3	杉並区立 郷土博物館
相州茅ヶ崎名所 絵葉書	1	模写 ／刊行物掲載	H27. 10. 21	柳島今・むかし会	墨書・刻書土器	1	データ利用 ／データベースに掲載	H28. 2. 5	国立歴史 民俗博物館
刀・ 常設展示風景	4	撮影 ／SNS掲載	H27. 10. 27	個人	メンコ	30	データ利用 ／研究発表	H28. 2. 7	個人
城山荘模型	3	撮影 ／個人的趣味	H27. 10. 27	個人	左義長 写真	1	データ利用 ／刊行物掲載	H28. 2. 9	神奈川県 総合政策課
企画展資料	-	撮影 ／個人的趣味	H27. 11. 8	個人	男神立像	1	撮影 ／研究発表	H28. 2. 12	奈良文化財 研究所
企画展資料	-	撮影 ／個人的趣味	H27. 11. 8	個人	民具(ウス・クワ等)	10	撮影 ／授業教材	H28. 2. 13	聖ステパノ 学園
企画展資料	-	撮影 ／個人的趣味	H27. 11. 8	個人	大磯宿小島本陣資料	87	撮影 ／調査研究	H28. 2. 16	宮内庁 公文書館
絵葉書	一括	模写 ／複製	H27. 11. 11	つきやま Arts&Crafts	平塚の桃園	1	模造 ／刊行物掲載	H28. 2. 17	浜岳郷土史会
男神立像 他	3	撮影 ／刊行物掲載	H27. 11. 13	埼玉県立歴史と 民俗の博物館	西小磯の七夕	2	撮影 ／刊行物掲載	H28. 2. 20	芸術教育 研究所
絵葉書 他	2	複写 ／刊行物掲載	H27. 11. 18	浜岳郷土史会	城山荘模型 他	14	撮影 ／参考資料	H28. 2. 21	個人
企画展古文書	-	撮影 ／参考資料	H27. 11. 21	個人	相州平塚海岸 通り絵葉書 他	3	撮影 ／研究発表	H28. 2. 23	中勘助を 知る会
企画展家相図・ 神文帳	2	撮影 ／参考資料	H27. 11. 26	個人	三井高棟写真 他	9	データ利用 ／テレビ放送	H28. 3. 4	NHK
滄浪閣 写真	1	データ利用 ／刊行物掲載	H27. 11. 27	三栄書房	葉巻入れ・灰皿・マッチ箱	3	撮影 ／刊行物掲載	H28. 3. 10	杉並区 生涯学習推進課
祭船・企画展神輿	8	撮影 ／参考資料	H27. 11. 29	個人	久恒秀治の 御庭指図	1	撮影 ／刊行物掲載	H28. 3. 11	神奈川県 平塚土木事務所
吉田茂写真 他	2	模写 ／刊行物掲載	H27. 12. 2	建通新聞社	城山荘模型 海藻押し葉	6	撮影 ／個人的趣味	H28. 3. 13	個人
アルミ貨・紙幣	6	撮影 ／参考資料	H27. 12. 10	個人	城山荘模型 七夕竹神輿他	5	撮影 ／個人的趣味	H28. 3. 19	個人
旧吉田茂邸完成 予測パース図	1	模写 ／刊行物掲載	H27. 12. 10	湘南リビング新聞社					

<資料の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	期間	申請者	資料名	点数	利用目的	期間	申請者
試掘確認調査遺物	一括	発掘調査報告書作成	H27. 4. 1 ～3.31	吾妻考古学研究所	マカ・ハマカネ鏡餅(代用品)	6	授業	H27. 9. 19 ～ 9.20	個人
マカ・ハマカネ・鏡餅(代用品)	4	授業	H27. 5. 9 ～ 5.16	個人	オシメ・オシメカバー	3	企画展展示	H27. 9. 24 ～12.11	横浜市歴史博物館
「湘南の考古資料展」土器が語る縄文時代の湘南」他	3	研究	H27. 5. 16 ～ 6. 5	個人	袴籠館繁栄之図 他	15	特別展展示	H27. 9. 25 ～12. 4	横浜みなと博物館
伊東祐正殿居地家作百分壺縮図	1	修理委託	H27. 5. 20 ～ 9.30	宮田文申堂	下田横穴第5号穴出土鏡	1	企画展展示	H27. 10. 1 ～12.11	川崎市市民ミュージアム
アカウミガメ剥製 他	37	観光案内	H27. 5. 27 ～ 7. 7	大磯町産業観光課	茅ヶ崎市・寒川町絵葉書 他	58	企画展展示	H27. 10. 6 ～H28. 2. 2	藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町美術展実行委員会
随神・屏風・掛軸・	5	祭事	H27. 7. 16 ～ 7.22	個人	吉田茂DVD	1	行事での放映	H27. 10. 28 ～ 10.30	ロータリークラブ
獅子頭	2	祭事	H27. 7. 18 ～ 7.19	個人	土質標本調査報告書	4	小学校授業	H27. 11. 9 ～ 11.25	大磯小学校
馬場台遺跡第20地点クワスキ先	1	修復	H27. 8. 11 ～H28. 3.18	東都文化財保存研究所	仁王像CD-Rアルバム	2	文化財看板作成	H27. 11. 18 ～ 11.25	大磯町生涯学習課
須臾器大甕	1	修復	H27. 8. 20 ～H28. 3.11	スタジオ三十三	左義長DVD、写真	9	テレビ番組制作	H28. 1. 20 ～ 2. 2	テレビ神奈川
写真集「如庵」「城山荘」 他	一括	鑑賞	H27. 8. 21 ～ 9.10	個人	「写真集吉田茂」	1	事業打合せ	H28. 1. 22 ～ 2.11	大磯町生涯学習課
古花水より高麗山を望む 写真	1	鑑賞	H27. 8. 23 ～9.12	個人	男神立像	1	特別展展示	H28. 1. 28 ～ 3.23	奈良国立博物館
創作こけし吉田茂・葉巻入れ 他	7	特別展展示	H27. 9. 12 ～12.11	衆議院憲政記念館	脇差し・掛軸・銅像 他	3	祭事	H28. 3. 5 ～ 3. 6	白岩神社
堂後下横穴墓群2・4号墓資料	一括	資料保存処理委託	H27. 9. 16 ～H28. 3.25	東都文化財保存研究所	トウミ	1	農作業の実演	H28. 3. 30 ～ 4.12	個人
安本亀八作松本順生人形	1	特別展展示	H27. 9. 18 ～H28. 1.10	一葉記念館					

<備品等の貸出>

備品名	点数	利用目的	期間	申請者	資料名	点数	利用目的	期間	申請者
展示ケース 展示ケースカバー	各1	化石展示	H27. 3. 22 ～ 4.26	県立大磯城山公園	公用車	1	健康診断物品搬送	H27. 11. 4 ～11. 5	大磯町学校教育課
公用車	1	狂犬病予防注射	H27. 4. 3 ～ 4.10	大磯町環境美化センター	公用車	1	行物品搬送	H27. 11. 6	大磯町学校教育課
公用車	1	選挙	H27. 4. 9 ～ 4.13	大磯町選挙管理委員会	公用車	1	行物品搬送	H27. 11. 9	大磯町学校教育課
公用車	1	消防救助技術訓練職員送迎	H27. 5. 19 ～ 5.20	大磯町消防署	公用車	1	行物品搬送	H27. 11. 14	大磯町学校教育課
公用車	1	美化キャンペーン物品搬送	H27. 5. 21 ～ 5.26	大磯町環境課	はさみ	5	竣工式	H27. 11. 19 ～11.26	大磯町役場
プロジェクター	1	講演会	H27. 5. 27 ～ 5.28	神奈川県退職公務員連盟さつきの会	プロジェクタースクリーン	各1	講演会	H27. 11. 29	神奈川地学会
公用車	1	消防救助技術指導会職員送迎	H27. 6. 16 ～ 6.17	大磯町消防署	プロジェクター延長コード	各1	講演会	H27. 12. 5	大磯町スポーツ健康課
プロジェクタースクリーン 他	各1	講座	H27. 7. 26	いそっこ海の教室実行委員会	公用車	1	出初式物品搬送	H28. 1. 8 ～1.12	大磯町消防署
スクリーン	1	講座	H27. 8. 10	大磯町生涯学習課	公用車	1	成人式物品搬送	H28. 1. 10 ～1.11	大磯町生涯学習課
長テーブル椅子	10	スポーツ行事	H27. 9. 27	大磯太極拳とテパレドゥカ連絡会	公用車	1	駅伝大会物品搬送	H28. 1. 17	大磯町スポーツ健康課
公用車	1	防災フェア物品搬送	H27. 9. 30 ～10. 4	大磯町危機管理課	スクリーン椅子 他	54	講演会	H28. 1. 22 ～ 1.23	大磯町環境課
公用車	1	健康診断物品搬送	H27. 10. 27 ～10.28	大磯町学校教育課	公用車	1	消防救助訓練職員送迎	H28. 3. 13 ～ 3.15	大磯町消防署
公用車	1	行物品搬送	H27. 10. 30 ～11. 3	大磯町福祉課					

<寄贈受入図書>

出版地	寄贈者	書名	出版年	
大磯町	大磯町教育委員会	教育要覧. 平成27年度	2016/2	
		図書館年報. 平成26年度	2015/11	
		大磯町文化財ガイドブック	2016/3	
	大磯だいすき倶楽部	大磯海水浴場の歴史	2015/6	
茅ヶ崎市	茅ヶ崎市美術館	絵はがきになった湘南の風景 : 展示資料目録	2016/2	
	茅ヶ崎市文化資料館	茅ヶ崎の石仏. 1 (鶴嶺地区)	2015/4	
		茅ヶ崎市文化資料館年報. 平成25 (2013) 年度	2015/11	
		茅ヶ崎市文化資料館年報. 平成26 (2014) 年度	2015/11	
		文化資料館調査研究報告. 24	2015/11	
藤沢市	湘南考古学研究所	宮原百石原 (no. 236) 遺跡発掘調査報告書.	2015/4	
		西富貝塚 (no. 46遺跡) 発掘調査報告書 : 第4次調査.	2015/4	
	藤沢市教育委員会	南鍛冶山遺跡発掘調査報告書. 第11巻 古代 7. 本文	2015/10	
	藤沢市生涯学習部	藤沢市文化財調査報告書. 第50集	2015/9	
	郷土歴史課	藤沢市史研究. 第48号	2015/4	
	藤沢市文書館			
	日本大学 生物資源科学部博物館	うなぎプラネット	2015/7	
	博物館報. 24号	2015/7		
秦野市	秦野市教育委員会	秦野の遺跡. 6	2015/6	
		秦野の遺跡. 7	2015/6	
		秦野の文化財. 第42集	2015/6	
平塚市	平塚市教育委員会	構之内遺跡発掘調査報告書 : 第6地点	2016/1	
		通り西/北金目塚越 : 平成23・24年度市内遺跡緊急調査報告	2015/6	
		平塚市試掘・確認調査報告書. 1 (平成10年度)	2015/12	
		平塚市試掘・確認調査報告書. 2 (平成11年度)	2016/1	
		平塚市博物館	炎の証言. 第16号	2015/5
			記憶をつないで : 聞き書き集	2015/5
		古文書講読会会報. 第5号	2015/5	
		後世に残したい相模川流域の地球遺産 : 相模川をジオパークに : 秋期特別展展示解説書.	2015/10	
		市民が探る平塚空襲. 通史編 1	2015/8	
		自然と文化 : 平塚市博物館研究報告. 38 (2015)	2015/5	
	天変地異 : 平塚周辺の自然災害	2015/4		
	平塚市博物館年報. 38 (2014)	2015/5		
寒川町	寒川文書館	寒川町史研究. 第27号	2015/4	
		寒川町史調査報告書. 20 (寒川神社日記 3)	2015/4	
		寒川町史調査報告書. 21 (大蔵自治会文書 1)	2015/10	
		寒川文書館年報. 第8号 (平成26年度)	2015/10	
二宮町	徳富蘇峰記念館	『大磯を愛した日本の名士』展	2016/2	
小田原市	小田原市郷土文化館	耳庵松永安左エ門	2015/10	
		小田原市郷土文化館研究報告. No. 51	2015/4	
	神奈川県立生命の星・地球博物館	神奈川県立生命の星・地球博物館年報. 第20号 (2014年度)	2015/12	
		神奈川県立博物館研究報告. 自然科学. 45号	2016/3	
		神奈川自然誌資料. 37	2016/3	
		生き物を描く : サイエンスのための細密描画 : 2015特別展展示解説書.	2015/10	
	神奈川地学会	神奈川地学 = News letter of the Kanagawa Earth Science Association. No. 78	2015/10	
報徳博物館	報徳博物館館報. No. 18	2016/2		
横浜市	アーク・フィールドワークシステム	寺尾遺跡第2地点発掘調査報告書.	2015/8	
	神奈川県立公文書館 盤古堂考古史料展示室	神奈川県立公文書館年報. 平成26年度	2015/7	
		国府津三ツ俣遺跡第XXIV地点	2015/7	
		志村坂上遺跡H地点第5次調査	2015/7	
		酒匂北川端遺跡第V地点	2015/7	
		松久保遺跡第5地点	2015/7	
		上鶴間日影山遺跡 : 相模原市no. 30遺跡 : 発掘調査報告書.	2015/7	

出版地	寄贈者	書名	出版年
		上麻生日光台遺跡第Ⅳ地区：発掘調査報告書	2015/7
		殿谷遺跡第2地点：発掘調査報告書.	2015/7
		武蔵国府関連遺跡発掘調査報告	2015/7
玉川文化財研究所		田中・第六天遺跡第4地点発掘調査報告書	2016/3
		神奈川を掘る. 1	2015/10
		西富岡・長竹遺跡. 第2次調査.	2016/3
		船久保遺跡第2次調査	2016/3
		田中・第六天遺跡第2地点発掘調査報告書	2015/4
		独園寺やぐら群. 第3次調査.	2016/3
		煤ヶ谷古在家遺跡第2地点.	2016/1
		北仲通一丁目遺跡.	2015/8
横浜みなと博物館		愛すべき海辺の観光の今・昔：企画展.	2015/12
神奈川県立図書館		郷土神奈川. 第54号	2016/3
帆船日本丸記念財団		帆船日本丸記念財団30年のあゆみ	2015/5
JICA横浜		JICA横浜海外移住資料館館報. 2014年度	2015/8
海外移住資料館		JICA横浜海外移住資料館研究紀要. 9 (平成26年度)	2015/8
横浜開港資料館		ハマを駆ける：クルマが広げた人の交流：わがまち横浜再発見ヨコハマ3万年の交流	2015/9
横浜都市発展記念館		横浜都市発展記念館紀要. 第10号	2015/5
		横浜都市発展記念館紀要. 第11号	2015/5
		時計屋さんの昭和日記：一青年のみた戦中戦後の横浜	2015/5
神奈川近代文学館		神奈川近代文学館30年誌：1984-2013：公益財団法人神奈川文学振興会 1982-2013：神奈川県立神奈川近代文学館開館30周年記念事業	2015/4
		神奈川近代文学館年報. 2014年(平成26年)度	2015/8
神奈川県教育委員会		わたしたちの神奈川県：小学校社会科参考図書. 平成27年版	2015/7
		かながわの民俗芸能. 第79号	2015/7
		神奈川県埋蔵文化財調査報告. 60	2015/4
		発掘された御仏と仏具：神奈川の古代・中世の仏教信仰：平成26年度 かながわの遺跡展・巡回展	2015/4
神奈川県博物館協会		神奈川県博物館協会会報. 第86号	2015/5
		博物館の未来をさぐる	2015/7
神奈川県立歴史博物館		神奈川県立博物館研究報告. 人文科学. 第42号	2016/2
		神奈川県立歴史博物館年報. 平成25年度	2015/4
		中世鎌倉地域における寺院什物帳(文物台帳)と請来遺品(唐物)の基礎的研究	2015/5
		中世東国の茶：武家の都鎌倉における茶の文化：特別展	2015/7
日本郵船歴史博物館		近藤廉平-社長の肖像：日本郵船創業130周年記念企画展.	2015/11
馬事文化財団		歴史コミックと馬：特別展	2015/5
馬の博物館		「学校内歴史資料室を活用した博物館デビュー支援事業」年報：文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業. 平成26年度	2015/11
横浜市歴史博物館		すくすく育てみんなの願い：出産と育児をめぐるモノがたり	2015/11
		横浜市歴史博物館紀要. 第19号	2015/11
		横浜市歴史博物館資料目録. 第23集.	2015/11
		横浜市歴史博物館調査研究報告. 第11号	2015/11
		君も今日から考古学者！：横浜発掘物語2015	2015/11
		古代の仏教：博物館収集資料を中心に：企画展	2015/10
		大おにぎり展：出土資料からみた穀物の歴史	2015/11
		鶴見川流域のくらし：生業・水運・信仰	2015/11
		鶴見川流域の狛犬百態：写真集	2015/11
		鶴見川流域フィールドワーク調査報告：歩いた・見た・調べた：横浜 市歴史博物館民俗に親しむ会.	2015/11
かながわ考古学財団		かながわの考古学：研究紀要. 20	2015/4
		河原口坊中遺跡. 第2次調査 第1分冊. 第2分冊. 第3分冊. 第4分冊. 第5 分冊	2015/4
		宮山中里遺跡. 2.	2016/3
		戸田小柳遺跡.	2016/3

出版地	寄贈者	書名	出版年
		戸田小柳遺跡第2地点	2015/9
		考えよう!旧石器人のライフスタイル : 人とモノの移動から探る旧石器時代の生活 : 平成24 (2012) 年度東京・神奈川・埼玉埋蔵文化財関係財団普及連携事業公開セミナー : 講演録	2015/6
		上粕屋・一ノ郷南遺跡, 上粕屋・和田内遺跡.	2016/2
		上粕屋・和田内遺跡第3次調査.	2015/8
		神奈川の発掘調査成果にみる考古学研究の転換点 : 「発見」から導かれる研究の方向性 : 公益財団法人かながわ考古学財団20周年記念事業公開セミナー記録集.	2015/4
		西谷町山王通遺跡.	2015/12
		倉見川登遺跡. 第1次調査.	2016/1
		年報. 22 (平成26年度)	2016/1
	神奈川県埋蔵文化財センター	神奈川県埋蔵文化財センター年報. 26	2015/4
	横浜植物会	横浜植物会年報. 第44号	2015/6
川崎市	川崎市立日本民家園	むかーしむかしの道具たち : 昔話が伝えるくらし 家で生まれる、家と育つ : 子供の習俗とくらし 旧佐地家門・供待、水車小屋、沖永良部の高倉、棟持柱の木小屋 : 民俗調査報告	2016/3 2016/3 2016/3
	川崎市市民ミュージアム	古鏡 = The mystic ancient mirror : その神秘の力 川崎市市民ミュージアム紀要. 第27集	2015/12 2015/4
	有明文化財研究所	三ッ沢貝塚. 動物遺体編	2015/10
鎌倉市	鎌倉市教育委員会	鎌倉の埋蔵文化財 = Buried cultural properties in Kamakura : 平成25年度発掘調査の概要. 18 鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 : 平成26年度発掘調査報告. 31 第1分冊, 第2分冊	2015/5 2015/5
	鎌倉文化研究会	西瓜ヶ谷やぐら群調査報告書 : 平成24年度詳細分布調査 : 平成25年度重要遺跡確認調査 鎌倉. 119号 鎌倉. 120号	2015/5 2015/11 2016/3
横須賀市	横須賀市教育委員会	横須賀市文化財調査報告書. 第52集	2015/6
	横須賀市自然・人文博物館	すべては製鉄所から始まった = It all began from the Yokosuka Arsenal : made in Japanの原点 : 横須賀製鉄所 (造船所) 創設150周年記念展. 横須賀市博物館研究報告. 自然科学. 第62号 横須賀市博物館研究報告. 人文科学. 第59号 横須賀市博物館研究報告. 人文科学. 第60号 横須賀市博物館資料集. 第39号 横須賀市博物館報. No. 62	2016/1 2015/5 2015/5 2015/10 2015/5 2015/10
	横須賀美術館	横須賀美術館コレクション選 横須賀美術館年報. 平成26年度 (2014. 4. 1-2015. 3. 31) 横須賀美術館年報. 別冊教育普及事業編 平成23年度	2016/3 2015/8 2015/8
	赤星直忠博士文化財資料館	雨崎 (AMAZAKI) 洞穴 : 三浦半島最古の弥生時代海蝕洞穴遺跡 赤星直忠博士文化財資料館だより. 第11号 赤星直忠博士文化財資料館だより. 第12号 赤星直忠博士文化財資料館だより. 第13号 三浦半島の古代寺院宗元寺 : 宗元寺から曹源寺 三浦半島の寺院と梵鐘 : 金属回収で消えた寺の釣鐘 江戸湾防備と会津藩	2015/9 2015/8 2015/8 2015/8 2015/8 2015/8 2015/8
逗子市	逗子市教育委員会	神奈川県逗子市埋蔵文化財緊急調査報告書. 9 (平成23年度)	2015/4
葉山町	葉山しおさい博物館	海の有毒生物 : 平成27年度葉山しおさい博物館企画展示「有毒生物の自然誌」解説書 潮騒だより. No. 25	2016/2 2016/2
	葉山町教育委員会	葉山町の歴史とくらし	2015/7
厚木市	厚木市郷土資料館	あつぎの草木 花めぐり : 第18回特別展示会図録. あつぎの野鳥 観察・辞典 : 第16回特別展示会図録. あつぎ縁起書の世界 : 神さま仏さまのプロフィール : 第15回特別展示 広告メディアが語る“商い”と地域の変遷 : 引札、チラシ、マッチラベル、錦絵、看板 : 第13回特別展示	2015/11 2015/11 2015/12 2015/12

出版地	寄贈者	書名	出版年
		本厚木駅と厚木駅：小田急、相鉄、相模線とあつぎ：第11回特別展	2015/12
	国際文化財株式会社	上粕屋・和田内遺跡. 第2次調査.	2016/3
	県央史談会	県央史談. 第55号	2016/3
綾瀬市	綾瀬市教育委員会 生涯学習部	場窪遺跡の調査	2015/10
		道場窪遺跡. 遺構編	2015/10
		道場窪遺跡. 遺物編	2015/10
海老名市	ブラフマン	恩名中原遺跡第5地点	2015/11
		河原口坊中遺跡第3次調査	2015/11
		深見要石遺跡第1地点	2015/11
相模原市	相模原市教育委員会	史跡川尻石器時代遺跡調査概報	2015/10
		相模原市史. 文化遺産編	2015/5
		相模原市文化財年報. 平成26年度の成果	2015/11
	相模原市立博物館	相模原市史ノート. 第12号	2015/5
		津久井町史. 通史編 近世・近代・現代	2015/4
大和市	大和市教育委員会	一つ目小僧とセーノカミ	2015/7
座間市	座間市教育委員会	座間むかしむかし. 第37集	2015/4
茨城県	かすみがうら市 郷土資料館	かすみがうら市郷土資料館年報. 第1号(平成26年度)	2015/12
	稲敷市立 歴史民俗資料館	稲敷市立歴史民俗資料館館報. 第9号	2015/9
		見て発見!古代の稲敷：企画展	2015/9
	小美玉市教育委員会	上郷遺跡	2015/8
	小美玉市立玉里史料館	小美玉市史料館報. 第8号	2015/8
	土浦市立博物館	戦争の記憶：土浦ゆかりの人・もの・語り：土浦市立博物館テーマ展	2015/10
群馬県	渋川市教育委員会 文化財保護課	渋川市市内遺跡. 8	2015/4
		渋川市市内遺跡. 9	2016/3
		八崎日影山遺跡・分郷八崎上浅ヶ原遺跡	2015/4
埼玉県	ふじみ野市教育委員会	市内遺跡群. 13.	2015/7
		市内遺跡群. 14.	2015/7
	立正大学博物館	経塚の諸相：立正大学博物館第10回特別展	2016/3
		立正大学の海外佛跡調査：ティラウラコットからカラ・テペへ：立正大学博物館第10回企画展	2015/7
		立正大学博物館年報. 13 (平成26年度)	2015/7
		梵音具：撫石庵コレクション：立正大学博物館品川キャンパス展示	2015/12
	春日部市教育委員会	作之内遺跡3次地点・西の宮東遺跡1次地点.	2015/4
	埼玉県立川の博物館	紀要. 15号	2015/4
		魚と人の知恵くらべ：魚の生態と伝統漁法：平成27年度埼玉県立川の博物館特別展：図録.	2015/9
		荒川流域の高低差まるわかりMAP [地図資料]	2015/9
	日高市教育委員会	日高の石造物	2015/5
	三芳町教育委員会 生涯学習課	サガヤマ遺跡第1地点発掘調査報告書	2015/6
	入間市博物館	入間市博物館紀要. 11号	2015/4
	富士見市立 難波田城資料館	ほうきと竹かご：自然素材の生活用具：平成28年春季企画展.	2016/3
千葉県	館山市立博物館	館山城下町資料調査報告書：平成26年特別展「里見氏の遺産」関連事業	2015/6
		館山藩：稲葉家と藩士たち：平成27年度特別展	2016/3
		西岬：海の信仰が息づく地.	2016/3
	伊能忠敬記念館	伊能忠敬記念館年報. 第16号(平成25年度)	2015/5
	国立歴史民俗博物館	ドイツと日本を結ぶもの：日独修好150年の歴史：企画展示	2015/8
	市立市川自然博物館	市立市川自然博物館年報. No. 25 (平成25年度)	2015/4
	松戸市立博物館	松戸市平和祈念展：平成27年度館蔵資料展	2015/7
		松戸市立博物館年報. 22号 (平成26年度)	2015/9
	千葉市立 加曽利貝塚博物館	貝塚博物館紀要. 第41号	2015/4
	千葉県立中央博物館	きつねのだんご	2016/3

出版地	寄贈者	書名	出版年
		ぐるりのみんなぬだおろち：解説つき	2016/3
		千葉県の妖怪ガイド	2016/3
		豊饒の房総：千葉県立中央博物館展示案内	2015/6
	船橋市郷土資料館	船橋市郷土資料館年報 = Annual report of Funabashi Historic Museum, Kyodo Shiriyokan. 平成25年度	2015/7
		縄文の手・現代の手：第14回縄文コンテンポラリー展inふなばし.	2015/7
	船橋市飛ノ台史跡公園	飛ノ台史跡公園博物館紀要. 第12号	2015/7
	袖ヶ浦市郷土博物館	水神下遺跡と奈良輪宿：企画展. I	2015/5
東京都	港区立港郷土資料館	研究紀要. 17 (平成26年度)	2015/6
		港区近世寺院跡遺跡調査報告書：不時発見寺院跡遺跡の発掘調査	2015/12
		港区指定文化財. 平成26年度	2015/4
		港区指定文化財. 平成27年度	2016/2
		長門萩藩毛利家屋敷跡遺跡発掘調査報告書	2015/12
	日本ユネスコ協会連盟	世界遺産年報：the world heritage. 2016 (No.21)	2015/12
	世田谷区教育委員会 次大夫堀公園民家園 昭和館	世田谷の酒屋事情：角打ち・御用聞き・量り売り ：平成27年次大夫堀公園民家園企画展 昭和のくらし研究. 13号 昭和館館報. 16号 (平成26年度)	2015/11 2015/8 2015/8
		双六でたどる戦中・戦後：昭和館特別企画展：展示図録	2016/3
	日本学術振興会	科研費news：科学研究費補助金：grants-in-aid for scientific research. 2014 Vol.4	2015/4
		科研費news：科学研究費補助金：grants-in-aid for scientific research. 2015 Vol.1	2015/7
		科研費news：科学研究費補助金：grants-in-aid for scientific research. 2015 Vol.3	2016/1
	日本博物館協会	会員名簿. 平成27年度	2015/12
		全国博物館園職員録. 平成27年	2015/12
	文化庁文化財部 明治大学	北関東のササガミ習俗：茨城県・栃木県	2015/7
	明治大学 学芸員養成課程	アンケート調査に基づく歴史系地域博物館展示・設備の実践的研究 "Museum study：Bulletin of the Course for Prospective Museum Workers, Meiji University". 26 (2014年度)	2015/4 2015/4
		Museologist：明治大学学芸員養成課程年報. 30 (2014年度)	2015/4
	多摩市文化振興財団 パルテノン多摩	アニメーションと多摩：パルテノン多摩歴史ミュージアム特別展	2015/7
		一ノ宮と水のあるくらし	2015/7
		多摩火工廠勤労働員日記：昭和19年～21年	2015/7
	国立科学博物館	Milsil：自然と科学の情報誌. Vol.8 No.3(45)	2015/5
		Milsil：自然と科学の情報誌. Vol.8 No.4(46)	2015/7
		Milsil：自然と科学の情報誌. Vol.8 No.5(47)	2015/9
		Milsil：自然と科学の情報誌. Vol.8 No.6(48)	2015/11
		Milsil：自然と科学の情報誌. Vol.9 No.1(49)	2016/1
		Milsil：自然と科学の情報誌. Vol.9 No.2(50)	2016/3
	中央区教育委員会 事務局	日本橋人形町三丁目遺跡. 2	2015/4
		湊一丁目遺跡：東京都中央区	2015/4
		明石町遺跡. 3	2015/4
	中央区立郷土天文館 タイムドーム明石	京橋二丁目遺跡. 2	2015/11
	玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館館報. 13号 2014年度	2015/9
		玉川大学教育博物館紀要. 12号	2015/5
	小島資料館	小島資料館目録：開館十周年記念	2015/11
		幕末史研究. No.38	2015/12
		幕末史研究. No.41	2015/12
	町田市立 自由民権資料館	自由民権：町田市立自由民権資料館紀要.28	2015/4
		風刺漫画に見る明治	2015/4
	東京家政学院 生活文化博物館	うっとり…レース：一本の糸からつくる美空間	2015/10
	調布市郷土博物館	ろくろからコマ：木地挽物と伝統こけし	2015/4
		考古資料でたどる調布の三万年	2016/3
	東京家政大学博物館	東京家政大学博物館紀要. 第20集	2015/5

出版地	寄贈者	書名	出版年
	板橋区教育委員会	歴史民俗研究：櫻井徳太郎賞受賞論集. 第12輯	2015/5
	板橋区立郷土資料館	企画展こけし	2015/5
		板橋の平和：企画展	2015/7
		武蔵千葉氏：特別展	2015/9
	品川区立品川歴史館	東海道品川宿：平成27年度品川区立品川歴史館開館30周年記念特別展	2015/10
	共和開発	常陸下館藩石川家屋敷跡遺跡発掘調査報告書	2015/4
	大成エンジニアリング 埋蔵文化財調査部	原東遺跡. 第3次調査.	2015/11
		神成松遺跡第6地点.	2016/3
	府中市郷土の森博物館	新宿比留間家文書目録 2	2016/3
		府中市郷土の森博物館紀要. 第29号 (2016年)	2016/3
	日本サイエンスコミュニケーション協会	科学系博物館等におけるサイエンスコミュニケーション活動実態調査報告書	2015/4
		: その現状と今後	
	お茶の水女子大学 学芸員課程委員会	博物館実習報告. 第31号 (2015年度)	2016/1
	豊島区立郷土資料館	生活と文化：研究紀要. 24号 (2014)	2015/4
		生活と文化：研究紀要. 25号 (2015)	2016/3
	東京都江戸東京博物館	江戸の園芸文化	2015/6
	杉並区教育委員会	荻外荘基礎調査報告書.	2015/8
	四門文化財事業部	横浜市港北区no. 34遺跡.	2015/4
	地方史研究協議会	地方史研究. 65巻5号 (377)	2015/10
	イビソク東京営業所	上溝乙二号遺跡. 第4地点	2015/12
	江北村の歴史を伝える会	江北の五色桜：船津資料からみる日米桜友好100周年.	2015/9
	三栄書房	広岡浅子が生きた時代.	2015/11
北海道	北海道歴史文化財団	一般財団法人北海道歴史文化財団年報 = Hokkaido Foundation for History and Culture annual report. 平成26年度	2016/1
		北海道歴史文化財団研究紀要. 1	2016/1
青森県	青森県立郷土館	青森県立郷土館報. 42号 (2015年度版)	2015/5
山形県	米沢市上杉博物館	国持大名上杉家：特別展	2015/6
		上杉家文書国宝への道：修復と紙の世界：コレクション	2015/6
	釈迦堂遺跡博物館	縄文人と動物たち：第27回特別展	2015/12
長野県	茅野市教育委員会	一本木遺跡：宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2015/5
		市内遺跡. 7：平成23・24年度埋蔵文化財発掘調査報告書	2015/4
		市内遺跡. 8：平成25年度埋蔵文化財発掘調査報告書	2015/4
		小堂見遺跡：住宅型有料老人ホーム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2015/5
		新井下遺跡：市道舗装復旧工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2015/4
静岡県	伊東市教育委員会	伊東の今・昔：伊東市史研究. 第11号	2015/5
		伊東の自然	2015/6
	沼津市歴史民俗資料館	沼津市博物館紀要. 39	2015/6
		沼津市歴史民俗資料館資料集. 28 (古文書 15(長浜大川家(2)・平沢西島家(2)・他文書目録))	2015/4
		焼津市歴史民俗資料館年報. 29 (平成26年度)	2016/3
愛知県	安城市歴史博物館	わたしの見た戦争：戦時下の子どもたち：企画展	2015/7
		三河真宗の名刹本證寺：国史跡指定記念特別展	2015/5
		時代を彩った美女たち：企画展	2016/2
		台地を拓く都築弥厚の夢：特別展	2015/11
		年報. 第23号 (平成26年度)	2015/8
	一宮市	木曾川今昔：川とともに生きる：秋季特別展：解説書.	2015/4
	尾西歴史民俗資料館	豊橋市自然史博物館年報. 第27号 平成26年度	2015/8
三重県	鈴鹿市考古博物館	発掘された鈴鹿：速報展. 2014.	2015/5
		鈴鹿市考古博物館年報. 第16号 (平成25年度版)	2015/5
大阪府	大阪市立自然史博物館	自然史研究. Vol.3 No.16 22-III-2016	2016/3

出版地	寄贈者	書名	出版年
		大阪の川原の石ころ	2016/3
		大阪市立自然史博物館館報. 40 (平成26年度)	2016/3
		大阪市立自然史博物館研究報告. 第69号	2016/3
		大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録 = Specimen list of Coleoptera in the insect collection of the Osaka Museum of Natural History.	2016/3
		4 /	
		動かないタマゴと動くタネのひみつ : 第46回特別展「たまごとたねのちのはじまりと不思議」展解説書 /	2016/3
	富田林市教育委員会	喜志遺跡. 4.	2015/11
		富田林市内遺跡群発掘調査報告書. 平成26年度	2015/11
	龍泉寺	名勝龍泉寺庭園事業実績報告書 : 平成21~25年度保存整備事業	2015/8
兵庫県	たつの市立 龍野歴史文化資料館	秀吉からのたより : よみがえる龍野神社の宝物.	2016/3
		脇坂家文書集成 : 「秀吉からのたより」展示資料別冊	2016/3
	人と防災未来センター	所蔵資料図録 = Disaster reduction and human renovation institution pictorial record : 暮らしのなかの震災資料 :	2016/3
奈良県	奈良国立博物館	おん祭と春日信仰の美術 : 特別陳列 : 特集 御旅所	2016/1
		伊豆山神社の歴史と美術 : 銅造伊豆山権現像修理記念 : 特別陳列	2016/2
		白鳳 : 花ひらく仏教美術 : 開館120年記念特別展	2015/9
和歌山県	和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館館報. 第32号	2015/4
広島県	熊平製作所	抜萃のつづり. その75	2016/2
	たけはら美術館	池田勇人 : 日本を変えた男	2015/11
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園年報. 第14号 (2014)	2015/7

<受入機関誌・広報誌>

出版地	受入機関名	誌名	巻号	発行年月
大磯町	鳴立庵	鳴立庵	No.28	2015.11
	日赤大磯町分区	日赤かながわ	第97-100号	[2015.6, 11], [2016.3]
	大磯ガイドボランティア協会	照ヶ崎：大磯ガイドボランティア協会会報	第25号	2015.11
秦野市	野生動物救護の会	Runner： 特定非営利活動法人野生動物救護の会会報	Vol.22-24	2015.4, 9, 12
寒川町	寒川文書館	寒川文書館だより	第17, 18号	2015.3, 9
小田原市	小田原市立図書館	小田原市立図書館 地域資料室通信.	第11, 12号	2015.8, 2016.3
	神奈川県立 生命の星・地球博物館	自然科学のとびら	Vol.21 No.1-3, Vol.22 No.1 (79-82)	2015.6, 9, 12 2016.3
		神奈川県立生命の星・地球博物館 催物案内	2016年4月-8月, 9-3月	[2015.3, 8]
	報徳博物館	報徳博物館だより	No.1, 2	2015.7, 2016.1
真鶴町	真鶴町立 中川一政美術館	美術館だより	第24号	2016.3
横浜市	神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館だより	第33, 34号	2015.10, 2016.3
	神奈川県立 国際言語文化アカデミア	神奈川県立国際言語文化アカデミア 開講講座のご案内	2015年4, 5月号	2015.4, 5
	横浜都市発展記念館	ハマ発newsletter： 横浜都市発展記念館館報	第24, 25号	2015.4, 7
	岩崎博物館	岩崎ミュージアムプレス： 岩崎博物館情報(ゲーテ座記念)	Vol.146-153	2014.12 2015.5, 7, 9, 11 2016.1, 3
	神奈川近代文学館	神奈川近代文学館	第128-131号	2015.5, 7, 10, 2016.1
	神奈川県教育委員会	民俗芸能情報提供	平成27年度7月-9 月, 平成28年度1月-3 月	2015.6, 12
	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館だより	Vol.21 No.1-3 (199-201)	2015.6, 10, 12
	横浜市歴史博物館	横浜市歴史博物館news = Yokohama History Museum news	No.38-40	2015.3, 9, 2016.3
かながわ考古学財団	考古学財団発掘帖 ：かながわ考古学財団情報誌	第23, 24号	2015.6, 9	
川崎市	川崎市立日本民家園	日本民家園カレンダー	2015年8月-11月, 2016年4月-7月	[2015.7, 2016.3]
	川崎市立日本民家園	日本民家園だより	Vol.83, 84	2015.7, 2016.1
	川崎市市民ミュージアム	MUSEUM CALENDAR； CINEMA THEQUE NEWS	2015.6-7, 2015.8-10	[2015.5, 7]
鎌倉市	鶴岡八幡宮宝物殿	社報 鶴岡	第121, 122号	2015.5, 2016.1

出版地	受 入 機 関 名	誌 名	巻号	発行年月
横須賀市	横須賀美術館	Corridart : 横須賀美術館ニュース	Vol.16, 17	2015.9, 2016.2
清川村	丹沢自然保護協会	丹沢だより	528-538	2015.4-2016.3
栃木県	小山市立博物館	小山市立博物館博物館だより	60	2015.3
埼玉県	立正大学博物館	万吉だより	第20-22号	2015.3, 10, 2016.3
	埼玉県立川の博物館	かわはく	No.51-53	2014.11, 2015.3, 7
千葉県	館山市立博物館	ミュージアム発見伝 : 館山市立博物館報	No.89	2015.2
	市立市川自然博物館	市立いちかわ自然博物館だより	Vol.26 No.1-6 (151-156)	2014.4, 6, 8, 10,12 2015.2
	松戸市立博物館	まつどミュージアム	No.23	2015.3
	船橋市郷土資料館	みゅーじあむ・船橋 : 船橋市郷土博物館・飛ノ台史跡公園博物館館報	v. 3, 4	2014.9, 2015.3
東京都	港区立港郷土資料館	港郷土資料館だより	第76号	2015.9
	靖国神社遊就館	靖国	第717-728号	2015.4-2016.3
	多摩市文化振興財団 パルテノン多摩	パルテノン多摩MUSEUM NEWS	Vol.29-31	2015.3, 6, 10
	玉川大学教育博物館	博物館ニュース Shu	No.44, 45	2015.3, 9
	法政大学 大原社会問題研究所	環境アーカイブズニューズレター	創刊号 (2015)	2016.3
	調布市郷土博物館	郷土博物館だより	No.76, 77	2015.3, 2016.3
			調布の文化財	第51-53号
	東京家政大学博物館	館報	No.63, 64	2015.5, 10
	府中市郷土の森博物館	あるむぜお : 府中市郷土の森博物館だより	112-115	2015.6, 9, 12 2016.3
	学習院大学 学芸員資格取得事務室	学芸員 : Bulletin for Curator's Course	no.19	2015.10
	豊島区立郷土資料館	かたりべ : 豊島区立郷土資料館だより	No.112-119	2014.6, 9, 12 2015.3, 7,9,12 2016.3
			第54・55合併号, 第56号	2015.3
	お札と切手の博物館	お札と切手の博物館ニュース	Vol.36, 37	2015.7, 12
	東京都江戸東京博物館	江戸東京博物館news = Edo-Tokyo Museum news	Vol.89-91	2015.3, 6, 9
岩手県	牛の博物館	牛のはくぶつかん	No.44, 45	2015.2, 8
山梨県	南アルプス市教育委員会 生涯学習課	山梨考古	134号	2014.11
	環境庁自然保護局生物 多様性センター	生物多様性センターニューズレター	第35号	2015.7
長野県	茅野市八ヶ岳総合博物館	八ヶ岳通信 : 茅野市の博物館・文化財だより	No.33	2015.3
岐阜県	藤村記念館	藤村記念館だより	No.139	2015.12

出版地	受 入 機 関 名	誌 名	巻号	発行年月
静岡県	沼津市歴史民俗資料館	沼津市歴史民俗資料館だより	Vol.39 No.4, Vol.40 No.1-3 (205-208)	2015.3
	静岡県立美術館	アマリス	No.117-120	2015.4, 7, 10 2016.1
愛知県	安城市歴史博物館	れきしみち : 安城の歴史を現代に伝える情報誌	No.100	2016.4
	安城市歴史博物館	博物館ニュース	No.96-99	2015.4, 7, 10 2016.1
	豊橋市美術博物館	風伯 : 豊橋市美術博物館友の会会報	第92-94号	2015.7
滋賀県	草津宿街道交流館	草津宿日和	1	2015.9
兵庫県	人と防災未来センター	資料室ニュース	Vol.56, 58	2015.3
奈良県	奈良国立博物館	奈良国立博物館だより	96号	[2016.1]
和歌山県	和歌山県立自然博物館	自然博物館だより	Vol.32 No.3, 4 Vol.33 No.1	2014.9, 12 2015.3
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園だより	No.61-64	2015.3, 7, 9, 12

旧吉田茂邸再建事業

平成 26 年度に引き続き再建工事を実施した。

大磯町旧吉田茂邸再建検討会議においては、再建後の利活用について協議した。

■ 大磯町旧吉田茂邸再建検討会議

<会議の概要>

- ・ 設 置／旧吉田茂邸再建に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、旧吉田茂邸利活用検討委員会の答申を具現化するため、大磯町庁議規定（平成 14 年大磯町告示第 16 号）第 5 条の規定に基づき大磯町旧吉田茂邸再建検討会議を設置する。
- ・ 設 置 日／平成 26 年 9 月 2 日
- ・ 構 成 員／教育部長（会長）、教育部生涯学習課長（副会長）、教育部生涯学習課郷土資料館長、政策総務部政策課長、政策総務部総務課長、政策総務部財政課長、都市建設部都市計画課長、産業環境部産業観光課長

<会議の開催>

- ・ 第 8 回／平成 27 年 6 月 10 日
 - 議題 1 政策会議での報告にむけての利活用の意見調整について
 - 議題 2 再建工事中に確認された横穴について
- ・ 第 9 回／平成 27 年 10 月 7 日
 - 議題 1 旧吉田茂邸再建工事の進捗状況について
 - 議題 2 平塚土木事務所との打ち合わせの経過について
 - 議題 3 旧吉田茂邸の管理区域について
 - 議題 4 運営にあたっての懸案事項について
 - 議題 5 今後のスケジュールについて
- ・ 第 10 回／平成 27 年 11 月 26 日
 - 議題 1 旧吉田茂邸再建工事の進捗状況について
 - 議題 2 平成 28 年度予算要求について
 - 議題 3 旧吉田茂邸運営概要について
- ・ 第 11 回／平成 28 年 2 月 10 日
 - 議題 1 旧吉田茂邸再建工事の進捗状況について
 - 議題 2 政策会議の報告について
 - 議題 3 仮使用認定期間の運用と保守について
 - 議題 4 旧吉田茂邸のランドデザインの検討状況について
 - 議題 5 今後のスケジュールについて

研究報告

博物館資料としての古文書の活用 —「用田村伊東宗兵衛家文書の世界」展を開催して—

* 富田 三紗子

1. はじめに

多くの地域博物館では、歴史資料として古文書を所蔵している。それらが地域の歴史を語る上で貴重な資料であることは言うまでもないが、博物館の中核的な機能を展示と捉えた時(1)、博物館事業として古文書を活用することには限界がある。なぜなら、古文書の展示は構成が平面的であり、一般受けしにくいと言われており、展示での活用では不向きだと考えられるからだ(2)。

一方で、昨今は古文書解読ブームであり、各地で行われている古文書解読講座では定員が満員になるという話をよくきく。また、展示であっても、四コマ漫画でキャプションを書いたり(3)、古文書の書状という形態に着目して中世の書状を作るコーナーを設けたり(4)、展示の工夫次第で、老若男女問わず関心を引くことができるとも言われている(5)。

大磯町郷土資料館(以下、当館)では、博物館としての活用が難しい古文書を、古文書裏打ちクラブや古文書解読クラブと言った市民のボランティアサークルで活用し、本年度(平成27年度)は、この両クラブで扱ってきた用田村伊東宗兵衛家文書(以下、伊東家文書)を、修復と解読の成果として企画展の題材にした。企画展の準備には、古文書解読クラブの有志にも関わっていただき、作業を進めた。このように、博物館において古文書の整理や調査を市民と共に行い、展示を行う活動は決して目新しいことではないが(6)、本稿では、これらの一連の活動を通して筆者が感じた博物館活動における古文書の活用の効果を、改めて考察したい。

2. 用田村伊東宗兵衛家文書の概要

一連の企画で対象とした伊東家文書は、平成11

(1999)年に大磯町内在住の方から寄贈いただいた古文書群である。総点数389点、江戸時代後期から明治時代初期を中心とした、いわゆる地方文書である。

用田村とは現在の藤沢市用田のことであり、この古文書群は、実は、大磯町内の地方文書ではない。縁戚関係から大磯に伝わったものであり、寄贈いただいた当初からこのことはわかっていたが、大磯に伝わった資料として当館で所蔵していた。当時、当館に歴史担当の学芸員が配属されていなかったこともあり、この古文書群はしばらく整理されなかったが、平成24年度から当館が主催する市民のボランティアサークル、古

文書解読クラブ(以下、解読クラブ)において解読を進めることによって、その全容が明らかになった。

伊東宗兵衛家は、用田の旧家伊東孫右衛門家の分家であり、用田の有力者として伝わる伊東三家の内的一家である。『新編相模国風土記稿』によると、伊東家は伊豆国の伊東氏に系譜があると伝わり、天正年間(1573～91)頃、伊東孫右衛門祐矩が用田村を開いたと言われる。祐矩には子が4人いたが、長男が出家したため二男が孫右衛門家を継ぎ、三男市郎兵衛、四男宗兵衛が分家した。この三家が伊東三家であり、当館が所蔵している伊東家文書は、この内の一家の宗兵衛家のものである。

用田には伊東家に関する古文書が伝わっておらず、『藤沢市史』にもこの地域の記述は少ない。このことから、当館が所蔵する伊東家文書は、用田の地域にとって貴重な資料であることがわかった。しかし、大磯町営の地域博物館として活動する当館にとっては、正直、活用の機会が限られてしまう資料である。資料そのものは、大磯に直接的な関係を持たない地域の資料であり、企画展示の題材にはなりにくい。展示の題材にするのであれば、大磯で展示を開催するという裏付けが必要である。当初から明確な計画があったわけではないが、結果として、この資料は、まず当館の教育普及事業で活用することになった。

3. 教育普及事業での活用

当館では、平成16年度から古文書裏打ちクラブ(7)(以下、裏打ちクラブ)を開催し、所蔵する古文書の修復を市民ボランティアの手によって行っている。もともと、隣の市の平塚市博物館において裏打ちの会という同様のサークルが開催されており、そのサークルのメンバーの一部が当館の裏打ちクラブの講師兼会員として活動を行い、新しい会員に指導するかたちで始まった。原則として毎月第三土曜日の午前10時から午後3時頃という月1回の活動を現在まで続けている。会員数は15～20人前後を推移している。

筆者はまだ在職していなかったため、当時の記録によると、クラブを開始した翌年の平成17年頃から伊東家文書の裏打ちを始めたようである。この時、クラブの会員の中に、古文書整理を経験していた者がいて、ある程度の封筒分けや資料名、資料番号の記載が行われた。しかし、この時はまだ、当館に歴史担当の学芸員が配属されていなかったため、それ以上の整理が行われることはなかった。

その後、歴史担当の学芸員として筆者が配属され、平成24年度から解読クラブを開催することにした。博物館や文書館が行う古文書解読に関する事業には講座形式のものが多く、解読クラブでは参加者と共に所

(* 当館学芸員)

蔵する古文書の解説を進めることによって、所蔵資料の整理や活用を促進することを目的とした(8)。

このようなクラブを開催することにした背景として、当館における一つの課題があった。当時、筆者は、8年間続けられた裏打ちクラブで修復された資料が未整理のままであり、クラブの活動を続けることによって資料が蓄積され続ける状況に頭を悩ませていた。そこで、解説クラブにおいてそれらの未整理資料の解説を進め、資料整理を少しでも進めたいと考えた。

解説クラブの活動頻度は、裏打ちクラブと同様に月1回とし、原則として毎月第一土曜日の午後2時から4時とした。会員数は15人を上限に11～14人で活動し、退会者が出た場合に年度を単位として新たな会員を募集している。

裏打ちされた資料は襖の下張り資料など、様々な種類の資料があったが、初心者も含めた市民と共に解説を進めるためには、ある程度一般的な地方文書群の構造を持った資料群の方が扱い易いと判断し、唯一その体裁を持っていた伊東家文書をまずは対象とした。ただし、解説クラブを始めた時点では、伊東家文書の全容がほとんどよくわかっていなかったため、まずは、裏打ちクラブの会員が行った整理作業を引き継ぐかたちで筆者が仮目録を作成し、その中からテキストを選択して解説クラブの活動を始めた。

解説クラブの趣旨としては、会員が自主的に古文書を読み進めることが望ましいが、会員募集の際に初心者も入会可能としたため、予め伊東家文書の中から選択したテキストを配布し、参加者に予習をお願いして、クラブの当日に輪読してもらったものを、担当学芸員

である筆者が解説するかたちも平行した。解説クラブの初年度の活動は、表1の通りである。

初回はガイダンスとして、活動内容の説明や、古文書の解説や調査方法を解説し、2回目に初回で配布したテキストの輪読を行った。この時、参加者の習熟度を見極め、参加者自身の希望も聞きながら、3回目以降は、輪読形式で進める学習班と、仮目録から関心を持った古文書を選択し自主的に解説を進める筆写班とに分けて活動を進めた。4回目以降は、筆写班の会員が解説した古文書を、解説した本人が学習班の会員に対して解説する時間を設けた。次第にこの時間が長くなってきたため、平成25年度の活動から、筆写班が解説した古文書の中からテキストになりそうな古文書を筆者が選択し、解説した会員に解説していただくことにした。つまり、学芸員の役割を参加者にお願いすることにしたのである。

筆写班の会員は、もともと解説クラブに参加する前から、他館やカルチャーセンターなどで開催された古文書解説講座に参加したことがあるなど、古文書を解説したことがある方が中心になっていたため、自身で解説する能力が十分にあった。彼らに講師のような役割をお願いすることによって、その能力を所蔵資料の整理や調査に結び付けたいと考えたところ、その能力は思いのほか発揮され、筆写班の会員は自主的に解説した古文書の内容に関連する研究書などを調査し、学習班の会員に発表する際、古文書の背景などを解説するまでに至った。さらには、月1回の頻度では足りないという意見が出たため、平成26年度から筆写班については毎週金曜日にも自主的に解説する時間を設ける

表1 古文書解説クラブ平成24年度の活動

回数	年月日	内容
1	平成24年8月4日	ガイダンス(活動内容や古文書の解説・調査方法について)
2	平成24年9月15日	平成24年度第1回解説資料の解説、学習班と筆写班の班分け
3	平成24年10月6日	学習班:平成24年度第2回解説資料の解説 筆写班:各自で伊東家文書の中から興味を持った文書の解説
4	平成24年11月3日	学習班:平成24年度第2、3回解説資料の解説 筆写班:各自で伊東家文書の中から興味を持った文書の解説、解説した文書の発表
5	平成24年12月8日	学習班:平成24年度第3回解説資料の解説 筆写班:各自で伊東家文書の中から興味を持った文書の解説、解説した文書の発表
6	平成25年1月5日	学習班:平成24年度第3回解説資料の解説 筆写班:各自で伊東家文書の中から興味を持った文書の解説、解説した文書の発表
7	平成25年2月2日	学習班:平成24年度第3回解説資料の解説 筆写班:各自で伊東家文書の中から興味を持った文書の解説、解説した文書の発表
8	平成25年3月2日	学習班:平成24年度第3、4回解説資料の解説 筆写班:各自で伊東家文書の中から興味を持った文書の解説、解説した文書の発表

ことになった。

また、次第に古文書の内容を明らかにしていく中で、一度、古文書が作成された用田の現地見学を行いたいという意見が出た。会員の中には、既に自主的に用田を訪ねた者もいて、クラブの中で現地の様子を報告していただいた。そして、平成25年12月8日に、解読クラブ参加者の有志で用田の現地見学会を開催した。伊東家文書の中には、当主が描いた用田の地図などがあり、現地を見学することによって土地勘を得ることができた。

古文書は解読して内容を理解することによって、初めてその価値を見出すことができる資料である。博物館資料として保管する場合、博物館事業の主たる活動となる展示による活用だけでは、古文書に対する知識がある程度ある人でなければ、理解を深めることは難しいだろう。しかし、博物館事業の中でも展示以外の教育普及事業であれば、当館の解読クラブのように古文書を深く読み込み、参加者によっては自ら関係資料を調査するという意識も芽生え、さらにはフィールドワークにも展開するなど、古文書を活用して様々な活動に結び付けることができる。博物館において展示以外の教育普及活動が注目されるようになったのは、1970年代半ば以降と言われる(9)。以来、博物館においては、様々な種類の講座やサークルが開催されてきた。展示には不向きな古文書も、それらの活動の対象として活用すれば、博物館資料として大いに活用できる。

4. 企画展の開催

裏打ちクラブと解読クラブで活用してきた伊東家文書も、解読クラブでの活動によって内容が次第に明らかにされ、寄贈者から直接話を伺うことによって大磯と用田のつながりも見えてきた。折しも、藤沢市文書館で用田を含めた御所見地域の悉皆調査の見直しを行い、報告書を作成するという事で、当館が所蔵する伊東家文書のマイクロ写真撮影が行われた。当館としても伊東家文書の存在と地域的なつながりを発表したいと考え、平成27年度に企画展を開催することにした(10)。

企画展の開催趣旨は、当館のクラブ活動の成果を基軸として、伊東家文書を網羅的に展示し、用田村の概要、伊東宗兵衛家を介した用田と国府(大磯)の関係を紹介することとした。展示内容を解読クラブの成果と結び付けたいと考えたので、前年度から筆写班で始めた毎週金曜日のクラブ活動を展示の準備作業に当てた。年度当初に計画した展示準備の予定は、表2の通りである。

この時、筆写班の会員として展示準備に携わった会員は5人いた。その内、4人の方には、伊東家文書の中から一つのテーマとなる古文書を選択していただき、企画展示室の一つのコーナーを担当して展示を行って

表2 古文書解読クラブによる展示準備予定

月	日	内容
4	10	打合せ、テーマ選定
	17	テーマ選定
	24	テーマ決定
5	8	図録原稿作成・調査
	22	
	29	
6	12	
	19	
	26	
7	10	図録原稿〆切
	17	
	31	図録原稿修正・調整
8	7	図録内容確定
	14	
	21	
9	28	図録原稿修正・調整、展示構成の検討
	4	図録最終確認、展示構成の検討
	11	展示構成案提出
10	25	展示解説文の提出
	2	展示準備
	9	
	16	
	23	
24	展示開始	

いただくことにした。また、この作業と関連して、図録の一つのテーマを担当していただき、原稿の執筆もお願いした。ここまでの作業をお願いするには、特定の古文書に向き合い、自ら古文書の内容を理解し、関連の事象を調査する意欲がなければ難しい。5人の内1人は、そこまでの作業をすることは難しいが、展示内容に対する意見交換や、展示資料の列品などの作業については参加したいという意向であったため、その作業をお願いすることにした。

博物館の展示作業に市民が携わることは、既に他館でも行われていることであり、目新しいことではない(11)。博物館資料としての古文書の活用という視点から述べるのであれば、市民が特定の古文書を対象として一つの展示を制作したり、図録を作成したりすることによって、古文書に対する理解は大いに深まる。最早、この作業を行うことは、一次資料から歴史叙述を行う作業に携わることになるからだ。また、自身が調査した古文書には自ずと愛着が湧き、会員によっては自分の展示を多くの人に見てほしいという欲求につながったようである。結果として、解読クラブの会員の家族や知人に企画展のチラシを配っていただくことにより、宣伝効果も高まった。

3年程古文書の解読を行い、一種の愛着を持った解読クラブの会員であれば、その古文書を題材とした展示に興味を持つことは自然である。それでは、解読クラブと無関係の来館者は、伊東家文書の展示にどのよ

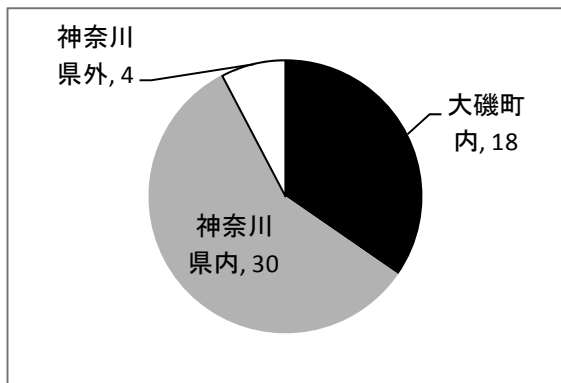
うな感想を持ったのだろうか。

この展示の来館者数は、42日間開催して4,594人であり、1日平均109.38人であった。当館の企画展は、だいたい4,000人程度の来館者数であれば通常の水準であるため、他の企画展と比較しても人数に遜色はないと言える。しかし、来館者数よりも来館者が展示を見学してどのような感想を持ったのかが重要である。当館では、企画展開催時にアンケートを行い、①住まい、②来館回数、③企画展に対する意見と感想を求めている。その内、③の意見と感想から、伊東家文書の展示に対する来館者の印象を考察する。

期間中、52枚のアンケートを集めることができたが、自由記述の欄には3件の要望があったにせよ、良かったという感想が4件、展示内容に関する感想が28件、常設展示の感想などその他の感想が13件と、概ね好評を得ることができた(12)。今回割合として特に多かった感想が、展示内容に関する感想である。

展示担当者としては、今回の展示が大磯町という地域外を題材としている展示であることを早くから有効に活用したいと考え、新聞記者へのアピールや現地である用田への宣伝を行ってはいった。その結果、図1の通り大磯町外からも多くの方が来館した。

図1 企画展アンケートによる住まい別の来館者数



町外において当企画展に関心を持った方の多くは藤沢市在住の方であり、感想の中には地元地域に対する理解が深まったというものが多くある。以下にいくつかを紹介する(13)。

- ①新聞報道で企画展を知りました。伊東家と用田のことは何年か前、本で知りました。展示物の解説がとてもわかりやすく、大変おもしろかったです。大磯町なのに藤沢、用田のことをこれほど研究しているのは大変うれしいことです。(藤沢市、初めて、男性、47歳)
- ②用田村の八右衛門の事を調べていて、何かつながりがあることが分かり、意義深い見学になりました。(横須賀市、初めて、男性)
- ③立ばな展示会が開かれ勉強させていただきました。

ありがとうございました。藤沢の住人。(県内、初めて、男性、83歳)

- ④私はS13年用田に生まれ、20才までそこで生活しました。用田村があったことをはじめて知りました。用田地域の人達にとって貴重な資料、ぜひ地域の子供たち大人たちにも来館してほしい。私は仙台での生活がもう40年になりますが、郷土の歴史がほんの少し判って良かった。ありがとう。(宮城県、初めて、男性、79歳)
 - ⑤用田に住んでいる者にとってはうれしいしいであります。(藤沢市、初めて、男性、70歳)
 - ⑥たまたま友人に大久保烏山藩の三家老の一人を先祖にもつ人がおり、烏山藩の出生は「世田谷烏山もそうだよ」とはきいていました。神奈川にも烏山藩の飛地があり、江戸末期藩財政ひっばくのようす、リアルに読んで興味深かったです。(中略)ありがとうございました。古文書解説、うらうち、ごくろうさまでした。(埼玉県、初めて、男性、65歳)
 - ⑦用田村が当時交通の要所であったことははじめて知り興味深くお話ししました。次回の展示があれば又来館したいです。ありがとうございました。(藤沢市、2回、女性、69歳)
 - ⑧示現寺～伊東幾右衛門家の間に住んでおりますので、来ました。住んでいる用田のことですが、初めて知ることばかりでとても参考になりました。ありがとうございました。(藤沢市、5～6回、男性、66歳)
 - ⑨普川家の友達と私の友人が伊東家(オランダに移住)の為、関係があるのではと来館しました。(藤沢市、初めて、男性、72歳)
 - ⑩ご近所の事なので、特に興味深く歴史を知る事ができ、ありがとうございました。(町内、3回以上、女性、50歳)
 - ⑪すばらしい。藤沢用田の人たちにも興味深いはず。藤沢に伊東さんという知人がいるので知らせます。ありがとうございました。梅沢のみこし大工もいとお話。(町内、3回以上、男性、69歳)
- ①、③、⑤、⑦～⑨の感想については、地元地域であることから親近感を持ち、展示内容に興味を持っていただいたという感想である。親近感という点では、②のような玄人の感想や、④、⑥のような偶然性まで興味深い。また、⑩、⑪のように町内の方でも、用田を近所と捉えたり、知人がいたりして親近感を持っていただいた。
- 博物館に来館する人のニーズとして「身近な歴史や自分の知っていることを確かめたい」という欲求があり、来館者は、現在あるものと昔の姿を比較したり、自分の生きてきた時代を振り返られる展示に共感や親近感を寄せたりすることによって、展示に興味関心を

持つ(14)。つまり、来館者は常に自分の問題関心や興味から展示資料を見ているため(15)、その問題関心や興味に展示内容が合致した時、その展示が面白いという評価になる。展示に不向きと言われる古文書であっても、内容が来館者と縁のある地域のことであれば、興味を持ってもらえるのである。

現に、伊東家文書の展示では、展示解説を2回開催したが、初回は約50人の参加があり、当館の企画展示室(84.12㎡)から参加者が溢れていた。このようなことは、筆者が担当した展示解説では初めてのことである。なるべく、地域のことに引き付けて宣伝した結果だと考えているが、今まで知られていなかった地元の歴史という題材には、一般の方も潜在的な関心を持っているのだろう。

また、今回の展示が裏打ちクラブや解読クラブの活動を通してまとめた内容であったことから、次のような感想を得ることができた。

- ①資料解説が丁寧でよいと思いました。裏打ちクラブのような地道な活動を続けられていることに頭が下がります。(鎌倉市、3回、女性)
- ②近世、近代、現代と時間のつながりと地域のつながりを市民活動20年の成果としての展示とできている事が素晴らしい。資料保存、解読の実りも大きく深く掘り下げた内容でした。展示内容も図録よりも判り易く説明、工夫をして頂いてよかったです。(後略)(秦野市、10回、男性、48歳)
- ③展示資料が整然と並べられ、かつわかりやすい解説に感銘を受けました。住民の方々と古文書を修復しながら、さらに解読を行っていることは、とても大切な館の活動だと思いました。この会の今後の発展をお祈りいたします。(横浜市、3回、男性)
- ④こうした地域の歴史を地道にほり起こしていただき感激です。古文書の裏打ちが史料と歴史をよみがえらせた。(横浜市、10回以上、男性)
- ⑤古文書裏打ちがとても細かい作業であることがよくわかりました。古文書の中にはいろんな情報が詰まっているので大事なことだと思います。お疲れ様でした。(藤沢市、3回以上、女性、57歳)

いずれも地域資料の保存活動に対する理解を示す感想であり、展示企画者としては有り難い感想である。市民がクラブ活動を通して地域資料の保存に携わっていることを知り、地域資料保存の大切さを実感いただけたのではないだろうか。

さらに、古文書の展示に対しては、やはり文字への関心も高いことが窺えた。内容より書への関心という点もニーズとして汲み取ることができるようだ。

・湯河原の帰りに寄りました。私は、個人の書道教室で、古典について生徒さんに説明しますが、この様に実際に江戸時代の字を見る機会はとても大

切な事ですので、今後もぜひ企画を続けていただきたいと思います。(横浜市、初めて、女性、44歳)

展示に不向きと言われる古文書も、工夫次第では展示資料として活用できることは、先行研究でも示唆されている通りである(16)。来館者が自身の関心や興味に引き付けて展示資料を見ることを考慮し、そのニーズに合った工夫があれば、古文書も博物館展示として十分活用できるだろう。今回開催した伊東家文書の展示は、そのことを実感する展示企画となった。

5. おわりに

本稿では、古文書を対象とした博物館事業の事例として、伊東家文書を対象とした裏打ちクラブと解読クラブの活動と、その成果を発表した企画展について、その事業内容をまとめた。最後に、一連の活動を通して得られた博物館事業における古文書の活用の効果についてまとめる。

博物館は、博物館法第2条に定義されている通り、資料を収集し、保管し、展示し、教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、資料に関する調査研究をすることを目的とする機関である。本来は、これらの目的をバランス良く事業として進める必要があるが、多くの博物館では、展示業務が博物館事業の中核を占め、一般的にも博物館＝資料を展示する場所と捉えられている感否めない。一方で、先述した通り、近年では教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業としての教育普及事業が注目され、各地の博物館で様々な講座やサークルが行われている。当館の裏打ちクラブと解読クラブは、このような博物館の教育普及事業の一つであり、古文書の修復や調査研究に市民が関わることによって、まずは参加者から古文書に関心を持っていただくことができた。そして、その活動の次の段階として展示を行うことによって、展示を通して来館者に対して古文書の保存、修復、調査研究に対する興味を持っていただくことができた。博物館事業における教育普及事業から展示事業への段階を踏むことによって、一般市民に対しても古文書に対する興味を持つ企画展を開催できたのではないかと考えている。

当館としては、本稿で紹介したような企画を、今回の伊東家文書に関して初めて行い、他に事例を持っているわけではない。今回の事例を踏まえて、引き続き同様の活動を行い、一般市民に対して古文書の保存、調査研究に対する関心をさらに醸成することができれば、博物館活動として一定の効果を得ることができるだろう。古文書は展示に不向きと諦めるのではなく、博物館事業として活用することによって、多くの人々に地域資料の保存の大切さや活用方法を理解してもらうことができるのであれば、地域資料保存に対する環

境も変化していくのではないか。博物館における古文書の活用が、今後さらに進展することを望む。

注

(1) 木場一夫『新しい博物館—その機能と教育活動—』日本教育出版社、1949年、p. 26 に言及されていることから始まり、最近も青木豊「展示の概念」（青木豊編『人文系 博物館展示論』雄山閣、2013年）では木場氏の言及を引いている。

(2) 林英夫「歴史系資料館と歴史学」（『歴史評論』451号、1987年）。田中淳一郎「古文書の展示と地域資料館—京都府立山城郷土資料館の活動—」（『歴史評論』483号、1990年）も林氏の言及を受けて考察している。

(3) 米谷博「古文書をやさしく展示する—歴史資料の展示方法をめぐって」（『Museum ちば』38号、2007年）

(4) 築瀬大輔「古文書展示における補助資料の効果的活用—地域連携の中で試みた古文書ハンズオン」（『群馬県立歴史博物館紀要』36号、2015年）

(5) 前掲注2、田中淳一郎（1990年）

(6) 土井浩「博物館活動と近世史研究」（青木美智男ほか編『講座日本近世史10 近世史への招待』雄斐閣、1992年）による平塚市博物館の事例は現在も継続している活動である。また、近年では、千葉県の野田市郷土博物館で開催された市民の文化活動報告展「読んでみました野田の古文書～初心者が挑んだ3年間の整理・解説・調査から～」（平成24年12月22日～平成25年3月25日開催）の事例がある。

(7) 開始当初は、古文書裏打ちの会という名称であった。

(8) 前掲注6の野田市郷土博物館の事例を参考にした。

(9) 大堀哲「教育とは何か」（大堀哲ほか編『新博物館学教科書 博物館学Ⅱ—博物館展示論*博物館教育論』学文社、2012年）p. 172

(10) 展示の詳細については、当年報 p. 5 の報告を参照されたい。

(11) 前掲注6のほか、古文書を対象とした事業ではないが、佐藤正三郎「地域博物館における『市民サークル主体型展示』の可能性～まちなみ研究会による歴史的建造物の活用とまちづくり～」(『野田市郷土博物館市民会館 年報・紀要』第3号、2011年)、加藤隆志「『市民参加』・『市民協働』と博物館—これからの博物館は何を目指すのか—」(『神奈川地域史研究』第30号、2013年)、刈田均ほか「横浜市歴史博物館『民俗に親しむ会』活動報告」(『横浜市歴史博物館調査研究報告』第12号、2016年)がある。

(12) 企画展に対する意見と感想の欄が空欄であったり、同じ記入者が複数の感想を記入することがあったりするため、アンケートの枚数と感想の件数の合計は一致しない。

(13) 明らかな誤字、脱字以外、アンケートの記入内容

をそのまま引用する。

(14) 長谷川伸「博物館における歴史展示と展示叙述—研究と展示の間を考える—」（『歴史学と博物館のあり方を考える会創立20周年記念誌 現場から 2』歴史学と博物館のあり方を考える会、2014年）p. 11

(15) 橋本雄「歴史展示、『伝えること』の難しさ」（『歴史学研究』854、2009年）p. 13

(16) 前掲注2、田中淳一郎（1990年）

年 報

平成 27 年度

◇ 平成 28 年 9 月 30 日発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463(61)4700 FAX 0463(61)4660